

令和元年度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県支部

日本赤十字社 ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

この事業概要は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの業務などについて収録した。

目 次

1. 役員等	1
2. 評議員会・監査等	3
3. 地区・分区関係	5
4. 活動資金の収納状況	8
5. 国際活動	11
6. 災害救護事業等	13
7. 救急法・健康生活支援講習等の普及	28
8. 赤十字奉仕団等	45
9. 青少年赤十字（J R C）	66
10. 広報・普及活動	71
11. 医療事業	73
12. 血液事業	78
13. 乳児院の運営	84
14. 日本赤十字社秋田県支部現勢	86

1. 役員等

(令和2年3月31日現在)

1. 支部役員・本社理事並びに代議員

役職名	氏名
支部長	佐竹敬久
副支部長	堀井啓一
	穂積志
監査委員	新谷明弘
	伊藤新
理事・代議員	佐々木義広
代議員	野口良孝
	三戸俊彦
	江畑佳明

2. 評議員

地区別	氏名
鹿角市	石井勲
大館市	日景隆
	櫻田玲子
北秋田市	津谷永光
能代市	齊藤滋宣
男鹿市	菅原広二
潟上市	藤原一成
秋田市	野口良孝
	黒崎義雄
	渡邊達夫
	加藤廣征
	川村豊太
由利本荘市	長谷部誠
	佐々木保之
にかほ市	佐藤耕一
大仙市	久米正雄
	高橋トモ子
仙北市	能美忠堯
横手市	高橋大
	佐々木義広
湯沢市	鈴木俊夫
北	中田吉穂
山本	田川政幸
中央	齋藤多聞
南	安藤豊
支部長選出	眞井田恭雄
	小玉喜久子
	三戸俊彦
	江畑佳明

3. 赤十字奉仕団秋田県支部委員会委員

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏 名	所属奉仕団	選 出 区 分
委 員 長	小 玉 喜久子	潟上市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	中 嶋 洋 子	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	
	高 橋 知 子	秋田市赤十字奉仕団	
	高 橋 トモ子	大仙市中仙赤十字奉仕団	
	八 代 千 春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委 員	石 川 鋭 子	能代市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	小棚木 美和子	横手市赤十字奉仕団	
	櫻 田 玲 子	大館市大館赤十字奉仕団	
	土 田 典 子	由利本荘市矢島赤十字奉仕団	
	吉 田 萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北 村 ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	阿 部 美 幸	鹿角市赤十字奉仕団	
	村 上 和 美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	門 脇 トキヨ	仙北市西木町赤十字奉仕団	
	伊 藤 明 美	上小阿仁村赤十字奉仕団	
	堀 田 キミ子	三種町八竜赤十字奉仕団	
	松 崎 信 子	大潟村赤十字奉仕団	
	村 上 與 子	羽後町赤十字奉仕団	
	三 浦 泰 輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会長
	鈴 木 敦 子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	小 野 敏実都	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石 川 和 男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	畠 山 邦 男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田 口 昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	眞井田 恭 雄	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	

2. 評議員会・監査等

1. 評議員会

評議員会を次のとおり開催した。

(1) 第1回目

期 日 6月13日

会 場 日本赤十字秋田看護大学

出席評議員 14名

報告事項

- ・平成30年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・平成30年度事業報告

審 議

- ・議案第1号 平成30年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 平成30年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 平成30年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算

監査報告

- ・議案第4号 監査委員の選出

※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。

※議案第4号、監査委員の選出については、伊藤 新氏が選出された。

※評議員会終了後、赤十字施設（日本赤十字秋田看護大学・秋田赤十字病院・秋田県赤十字血液センター・秋田赤十字乳児院）の視察を実施した。

(2) 第2回目

令和2年3月10日に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止し、文書審議を実施した。

審 議

- ・議案第1号 日本赤十字社代議員の選出
- ・議案第2号 令和元年度一般会計歳入歳出補正予算
- ・議案第3号 令和元年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第4号 令和元年度社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第5号 令和2年度事業計画
- ・議案第6号 令和2年度一般会計歳入歳出予算

- ・議案第 7 号 令和 2 年度医療施設特別会計歳入歳出予算
 - ・議案第 8 号 令和 2 年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算
- ※議案第 1 号、日本赤十字社代議員の選出については、久米正雄氏が選出された。
- ※議案第 2 号から議案第 8 号までは原案どおり承認された。

2. 監査等

(1) 支部監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5 月 29 日	支 部 研 修 室	支部監査委員
乳 児 院			
血 液 セ ン タ ー			
病 院	5 月 30 日	病院福利厚生棟会議室	

(2) 会計調査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
病 院	10月23日	病院福利厚生棟会議室	税理士（2人）
支 部	2 月 12 日	支 部 研 修 室	
乳 児 院		乳 児 院 会 議 室	

(3) 監査法人による期中監査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
支 部	2 月 25 日、26 日	支 部 研 修 室	公認会計士（3人）

3. 地区・分区関係

1. 地区・分区の概況

(令和2年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名 称	電話番号
秋 田 市	穂 積 志	市 長	福祉総務課	018-888-5661
能 代 市	齊 藤 滋 宣	市 長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横 手 市	高 橋 大	市 長	社会福祉課	0182-35-2132
大 館 市	福 原 淳 嗣	市 長	福祉課	0186-42-8100
男 鹿 市	菅 原 広 二	市 長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯 沢 市	鈴 木 俊 夫	市 長	福祉課	0183-73-2122
鹿 角 市	児 玉 一	市 長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	長谷部 誠	市 長	福祉支援課	0184-24-6315
潟 上 市	藤 原 一 成	市 長	社会福祉課	018-853-5314
大 仙 市	老 松 博 行	市 長	社会福祉課	0187-63-1111
北 秋 田 市	津 谷 永 光	市 長	福祉課	0186-62-6637
に か ほ 市	市 川 雄 次	市 長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙 北 市	門 脇 光 浩	市 長	社会福祉協議会	0187-52-1624
小 坂 町	細 越 満	町 長	町民課	0186-29-3925
上小阿仁村	中 田 吉 穂	村 長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤 里 町	佐々木 文 明	町 長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三 種 町	田 川 政 幸	町 長	福祉課	0185-85-2190
八 峰 町	森 田 新一郎	町 長	福祉保健課	0185-76-4608
五 城 目 町	渡 邊 彦兵衛	町 長	社会福祉協議会	018-852-5192
八 郎 潟 町	畠 山 菊 夫	町 長	社会福祉協議会	018-875-3871
井 川 町	斎 藤 多 聞	町 長	社会福祉協議会	018-874-2611
大 潟 村	高 橋 浩 人	村 長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美 郷 町	松 田 知 己	町 長	福祉保健課	0187-84-4907
羽 後 町	安 藤 豊	町 長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東 成 瀬 村	佐々木 哲 男	村 長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	岡 本 時 彦	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山 本	武 藤 順 洋	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中 央	長 岐 武 彦	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	中 山 元	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2. 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4月10日
 会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
 出席者数 51人
 議 題 等 ・DVD「赤十字この1年」
 ・平成30年度秋田県支部事業概要
 ・令和元年度事業計画

(2) 新任事務担当者研修会

期 日 8月22日
 会 場 秋田県社会福祉会館 9階第4会議室
 出席者数 13人
 研修内容 ・DVD「田原坂 日本のソルフェリーノの丘」
 「国際赤十字と日本赤十字社 その誕生」
 ・講話「赤十字について」
 ・赤十字講習研修
 ・実務研修

(3) 地区・分区主催会議、研修会等への出席

主 催	期 日	会 議 名 等	会 場	出席者数	備 考
秋 田 市	4月15日	日赤秋田市地区 評議員会	秋田市役所 正庁	12人	・赤十字会員増強運動について
	4月23日	日赤秋田市地区 協議会	協働大町ビル	83人	・赤十字会員増強運動について ・DVD 上映「別れの乳房～ 97歳赤十字従軍看護婦の証 言～」
	11月13日 ～14日	日赤秋田市地区 役員研修	宮城県赤十字血液セ ンター	9人	・宮城県支部の災害救護活動 について
	1月31日	日赤秋田市地区 分区長研修会	日赤秋田看護大学・ 日赤秋田短期大学 等	25人	・赤十字事業について
大 仙 市	4月25日	日赤大仙市地区 大曲分区総会並 びに協賛委員会 議	大仙市役所	36人	・秋田県支部の活動状況につ いて ・赤十字会員増強運動につ いて
	6月27日	日赤大仙市地区 事務担当者研修 会	大仙市役所	9人	・地区分区交付金精算事務等 について

3. 全国赤十字大会参会・本社研修等

(1) 本社研修

期 日 5月21日
会 場 日本赤十字社 クロスラウンジ
出席者数 11人
研修内容 ・本社職員講話
・本社見学

(2) 全国赤十字大会

大会名称 令和元年 全国赤十字大会
期 日 5月12日
会 場 東京都渋谷区「明治神宮会館」
参 会 者 23人
本社理事 1人
寄付者 11人（個人3・法人8）
秋田県赤十字有功会 1人
地区分区 1人
施設職員 4人 支部職員 5人
大会内容 プロローグ 「赤十字この1年」上映
式 典 名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご臨場
「国歌」斉唱
社長あいさつ
有功章ご授与
社長表彰
厚生労働大臣祝辞
実践活動の報告
「あこがれの赤十字」合唱
名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご退場
アトラクション 国際赤十字・赤新月社連盟創設100周年記念コンサート

4. 活動資金の収納状況

1. 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		30年度実績 人	元年度実績 人	増 減 円	30年度実績 円	元年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	19,277	17,868	△ 1,409	24,844,967	24,290,191	△ 554,776
2	能 代 市	6,490	5,570	△ 920	6,303,150	6,213,650	△ 89,500
3	横 手 市	15,047	14,389	△ 658	13,506,010	13,171,320	△ 334,690
4	大 館 市	9,563	9,231	△ 332	7,493,075	7,483,275	△ 9,800
5	男 鹿 市	8,853	8,693	△ 160	6,282,000	6,171,800	△ 110,200
6	湯 沢 市	13,106	13,158	52	6,590,136	6,608,220	18,084
7	鹿 角 市	8,576	8,402	△ 174	4,630,300	4,497,600	△ 132,700
8	由利本荘市	19,619	19,036	△ 583	14,136,400	13,964,200	△ 172,200
9	潟 上 市	4,097	3,964	△ 133	4,239,640	4,157,100	△ 82,540
10	大 仙 市	19,288	18,930	△ 358	14,435,550	14,243,700	△ 191,850
11	北 秋 田 市	8,447	8,317	△ 130	6,663,950	6,582,100	△ 81,850
12	にかほ市	7,250	7,157	△ 93	5,178,600	5,099,350	△ 79,250
13	仙 北 市	6,964	6,897	△ 67	5,490,151	5,433,352	△ 56,799
14	小 坂 町	1,784	1,717	△ 67	1,215,800	1,189,800	△ 26,000
15	上小阿仁村	686	686	0	563,600	558,100	△ 5,500
16	藤 里 町	1,080	1,074	△ 6	799,300	790,300	△ 9,000
17	三 種 町	4,667	3,915	△ 752	3,921,000	3,388,450	△ 532,550
18	八 峰 町	2,503	2,484	△ 19	1,750,400	1,737,300	△ 13,100
19	五 城 目 町	2,926	2,825	△ 101	2,375,207	2,332,803	△ 42,404
20	八 郎 潟 町	1,865	1,853	△ 12	1,429,900	1,422,100	△ 7,800
21	井 川 町	1,330	1,300	△ 30	952,900	929,000	△ 23,900
22	大 潟 村	811	807	△ 4	595,900	584,900	△ 11,000
23	美 郷 町	4,881	4,821	△ 60	4,826,100	4,777,500	△ 48,600
24	羽 後 町	4,299	4,228	△ 71	2,773,650	2,839,450	65,800
25	東成瀬村	750	749	△ 1	727,400	729,000	1,600
	計	174,159	168,071	△ 6,088	141,725,086	139,194,561	△ 2,530,525
	支 部 扱	1,022	1,111	△ 89	7,845,519	12,270,632	4,425,113
総 計		175,181	169,182	△ 5,999	149,570,605	151,465,193	△ 1,894,588

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区 分	会 員 数 等			寄付 件数 件	活 動 資 金 額					
	目標会員数(A) 人	元年度実績(B) 人	千円以上 会員実績(C) 人		C／B %	目標額(D) 円	会 費(E) 円	寄付金(F) 円	活動資金実績 (E＋F) 円	平均会費額 (E／B) 円
1 秋 田 市	18,032	17,868	4,147	23.2	10,024	26,551,000	14,171,168	10,119,023	24,290,191	793
2 能 代 市	7,650	5,570	182	3.2	396	7,162,600	3,183,400	3,030,250	6,213,650	571
3 横 手 市	17,158	14,389	530	3.6	633	14,298,100	9,970,820	3,200,500	13,171,320	692
4 大 館 市	10,751	9,231	999	10.8	96	8,878,700	5,592,200	1,891,075	7,483,275	605
5 男 鹿 市	9,053	8,693	1,048	12.0	3	6,627,800	6,171,000	800	6,171,800	709
6 湯 沢 市	13,897	13,158	4	0.0	0	7,014,600	6,608,220	0	6,608,220	502
7 鹿 角 市	8,923	8,402	472	5.6	23	4,868,000	4,492,900	4,700	4,497,600	534
8 由利本荘市	18,853	19,036	1,796	9.4	59	14,731,800	13,851,400	112,800	13,964,200	727
9 潟 上 市	5,178	3,964	118	2.9	339	4,432,800	2,187,100	1,970,000	4,157,100	551
10 大 仙 市	20,231	18,930	6,420	33.9	218	15,440,000	14,145,450	98,250	14,243,700	747
11 北秋田市	8,892	8,317	3,205	38.5	52	7,022,700	6,567,750	14,350	6,582,100	789
12 にかほ市	7,545	7,157	12	0.1	247	5,388,500	4,976,800	122,550	5,099,350	695
13 仙 北 市	7,321	6,897	2,971	43.0	70	5,785,400	5,416,000	17,352	5,433,352	785
14 小 坂 町	1,883	1,717	71	4.1	110	1,306,900	1,151,300	38,500	1,189,800	670
15 上小阿仁村	752	686	267	38.9	0	620,500	558,100	0	558,100	813
16 藤 里 町	1,145	1,074	118	10.9	0	860,500	790,300	0	790,300	735
17 三 種 町	4,932	3,915	2,318	59.2	13	4,254,300	3,383,650	4,800	3,388,450	864
18 八 峰 町	2,586	2,484	5	0.2	0	1,815,200	1,737,300	0	1,737,300	699
19 五城目町	3,196	2,825	4	0.1	6	2,571,200	2,268,000	64,803	2,332,803	802
20 八郎潟町	1,897	1,853	100	5.3	0	1,452,000	1,422,100	0	1,422,100	767
21 井 川 町	1,416	1,300	202	15.5	0	1,051,300	929,000	0	929,000	714
22 大 潟 村	802	807	40	4.9	0	639,200	584,900	0	584,900	724
23 美 郷 町	5,059	4,821	4,666	96.7	11	4,985,400	4,775,200	2,300	4,777,500	990
24 羽 後 町	4,100	4,228	1	0.0	0	2,863,700	2,839,450	0	2,839,450	671
25 東成瀬村	765	749	586	78.2	0	744,100	729,000	0	729,000	973
計	182,017	168,071	30,282	18.0	12,300	151,366,300	118,502,508	20,692,053	139,194,561	705
支 部 扱	0	1,111	791	71.1	36	0	11,955,930	314,702	12,270,632	10,761
総 計	182,017	169,182	31,073	18.3	12,336	151,366,300	130,458,438	21,006,755	151,465,193	771

2. 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数 社	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数 社	割 合 %
746	20,926,342	100万円以上	1	0.13
		50万円以上	3	0.40
		20万円以上	7	0.93
		10万円以上	14	1.87
		5 万円以上	15	2.00
		3 万円以上	322	43.0
		1 万円以上	328	43.9
		1 万円未満	56	7.49

3. 過去5年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	会 員 数 人	前 年 度 比 %
27	158,353,216	101.8	181,085	95.3
28	150,507,028	95.0	181,004	100.0
29	154,170,199	107.3	178,531	98.6
30	149,570,605	91.5	175,181	98.1
元	151,465,193	101.2	169,182	96.5

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	法 人 数 社	前 年 度 比 %
27	11,713,635	115.1	536	99.4
28	15,664,698	133.7	628	117.2
29	19,925,047	127.2	610	97.1
30	20,158,857	101.2	699	114.6
元	20,926,342	103.8	746	106.7

5. 国 際 活 動

1. 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している2カ国に対する「救急法普及支援事業」並びに学校等における衛生環境改善や災害リスク軽減のニーズが高い2カ国に対する「青少年赤十字海外支援事業」を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

(1)資金援助協力の状況

東ティモール	救急法普及支援事業	233,000円
(※日赤第1ブロック全体で 2,500,000円を支援)		
ラオス	救急法普及支援事業	233,000円
(※日赤第1ブロック全体で 2,500,000円を支援)		
ネパール	青少年赤十字海外支援事業	93,000円
(※日赤第1ブロック全体で 1,000,000円を支援)		
バヌアツ	青少年赤十字海外支援事業	93,000円
(※日赤第1ブロック全体で 1,000,000円を支援)		
計		652,000円
(※日赤第1ブロック全体で 7,000,000円を支援)		

2. 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK 秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金活動を呼びかけた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数	34団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）
街頭募金額実績	708,227円

3. 海外救援金の受付状況

名 称	件数 (件)	金額 (円)
バングラディシュ南部避難民救援金	8	1,600
中東人道危機救援金	5	960
NHK海外たすけあいキャンペーン (※)	178	1,297,299
計	191	1,299,859

※郵便振替（本社受付分）は含まず。

6. 災害救護事業等

1. 災害救護活動

- (1) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(令和2年3月31日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市	12	8	200,000
能 代 市	10	4	80,000
横 手 市		1	200,000
大 館 市	26	10	200,000
男 鹿 市			
湯 沢 市	4	2	40,000
鹿 角 市		1	60,000
由 利 本 荘 市	7	3	60,000
潟 上 市			60,000
大 仙 市	27	14	280,000
北 秋 田 市	16	7	120,000
仙 北 市	11	5	120,000
に か ほ 市			40,000
小 坂 町			
上 小 阿 仁 村			
藤 里 町			
三 種 町	1	1	20,000
八 峰 町	2	1	20,000
五 城 目 町			
八 郎 潟 町			
井 川 町			
大 潟 村			
美 郷 町	1	1	20,000
羽 後 町			
東 成 瀬 村			
計	117	58	1,520,000

(2) 令和元年台風第19号災害救護活動の実施状況

ア. 災害の概要

- ・発生年月日 令和元年10月6日

12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸。

台風本体の湿った空気の影響で、関東甲信越、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。

この記録的な大雨により12日から13日にかけて12都県に特別警報が発表された。

- ・被災地…災害救助法適用 14都県390市町村

岩手県（6市5町3村） 宮城県（14市20町1村） 福島県（13市30町12村）

茨城県（24市6町） 栃木県（13市8町） 群馬県（12市13町5村）

埼玉県（29市18町1村） 千葉県（25市15町1村） 東京都（7区17市4町1村）

神奈川県（11市7町1村） 新潟県（3市） 山梨県（10市6町4村）

長野県（16市13町14村） 静岡県（1市1町）

イ. 被害状況

区 分	人 的 被 害				住 家 被 害					被住家被害	
	死者	行方不明者	負 傷 者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
全国計	99	3	40	341	3,280	29,638	35,067	7,837	23,092	187	13,550

ウ. 避難者の状況

- ・最大約13万5千人（全国 10月13日時点）

エ. 秋田県支部の対応

- ・日赤災害医療コーディネーターの派遣

派遣要員		所属	派遣先	派遣期間	活動内容
日赤災害医療 コーディネーター (医師)	藤田康雄	病院	日赤 宮城県支部、 宮城県庁	10月15日～ 10月19日 (5日間)	医療救護業務の調整

・救護班の派遣

(第1班)

派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長（医師） 1人 看護師長 2人 看護師 1人 主事 2人	病院	宮城県 丸森町	10月15日～ 10月19日 （5日間）	避難所のアセスメント 及び巡回診療を実施
連絡調整員 1人	支部			
診療取扱患者 21人				

(第2班)

派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
班長(医師) 1人 看護師 2人 主事 2人 研修医 1人	病院	宮城県 丸森町	10月23日～ 10月27日 (5日間)	避難所の巡回診療及び 役場職員等支援者への こころのケアを実施
診療取扱患者 9人 こころのケア対応被災者 20人				

・日赤宮城県支部災害対策本部への支援要員派遣

派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
災害対策本部要員 1人	支部	日赤 宮城県支部	10月23日～ 10月27日 (5日間)	災害救護業務の調整

(3) 新型コロナウイルスの感染症にかかる医療施設支援活動の実施状況

クルーズ船からの感染症患者（PCR 陽性であって無症状または軽症者）の受入れ施設に支援要員を次のとおり派遣した。

・患者受入れ施設への支援要員の派遣

派遣要員	所属	派遣先	派遣期間	活動内容
医 師 1人 看護師 2人	病 院	水戸赤十字病院	2月24日～ 2月27日 (4日間)	診療業務支援

2. 訓練・研修会の実施状況

(1) 災害救護訓練等

訓 練 名	期 日	場 所	主 催 者	赤十字関係参加人員	
				人 数	内 訳
「県民防災の日」 訓 練	5月26日	秋 田 市 県庁第2 庁 舎	秋 田 県	2	支部2
秋田市総合防災 訓 練	8月30日	秋 田 市 新屋地区	秋 田 市	35	支部3、病院8 防災Vリーダー2 奉仕団22
秋田県総合防災 訓 練	9月1日	男 鹿 市 大 湊 村	秋 田 県 男 鹿 市 大 湊 村	48	支部3、病院8 防災Vリーダー3 奉仕団34
秋田県国民保護 共 同 図 上 訓 練	1月31日	秋 田 市 県庁第2 庁 舎	秋 田 県	2	支部2
秋田県・藤里町冬 期 防 災 訓 練	2月16日	藤 里 町	秋 田 県 藤 里 町	36	病院5 奉仕団31

(2) 東北ブロック DMAT 技能維持研修

1回目

期 日 5月13日～14日

会 場 リンクステーション青森

参 加 者 DMAT隊員 3人

2回目

期 日 8月28日～29日

会 場 アクティブシニアセンター・アオウゼ（福島市）

参 加 者 DMAT隊員 3人

3回目

期 日 1月11日～12日

会 場 東京エレクトロンホール宮城

参 加 者 DMAT隊員 1人

(3) 統括 DMAT 研修会

期 日 5月20日～21日

会 場 国立病院機構災害医療センター

修了者 病院医師 1人

(4) 全国赤十字救護班研修会

期 日 7月14日～16日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 救護員 4人

指導スタッフとして参加 救護員 1人

(5) 防災教育事業指導者養成研修会

期 日 7月26日～28日

会 場 日本赤十字社

修了者 支部職員 1人、防災ボランティア 1人

(6) 災害派遣医療チーム（DMAT）研修

1回目

期 日 8月5日～8日

会 場 国立病院機構災害医療センター

修了者 病院 医師 1人、看護師 2人、主事 2人

2回目

期 日 1月28日～31日

会 場 国立病院機構災害医療センター

修了者 病院看護師 1人

(7) 救護員研修会

期 日 8月6日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参加者 24人

内 容 トリアージ訓練

無線通信訓練

災害診療記録について

総合演習

(8) 防災教育事業指導者フォローアップ研修

期 日 9月28日

会 場 日本赤十字社

修了者 防災教育事業指導者 2人

(9) こころのケア指導者養成研修会

期 日 11月15日～17日

会 場 日本赤十字社

修了者 病院看護師 1人

(10) こころのケア研修会

期 日 11月22日

会 場 秋田赤十字病院 多目的ホール

修了者 救護員 17人

(11) 日赤災害医療コーディネート研修会

期 日 12月7日～8日

会 場 日本赤十字社

参加者 病院 日赤災害医療コーディネートスタッフ 1人

3. 臨時救護

各種団体が開催する公的行事に、次のとおり医師・看護師を派遣した。

派遣期日	行事の名称	派遣場所	派遣延べ人数	取扱患者数
5月23日	第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会	秋田市	看護師 2	2
7月13日	令和元年度海難救助訓練大会	八峰町	看護師 1	1
9月4日	第32回秋田県高齢者 8 人制バレーボール 親睦交流大会	秋田市	看護師 1	4
9月21日 ～22日	AKITA 防災キャンプフェス	秋田市	看護師 2	3
10月3日	第57回秋田県老人クラブ大会	秋田市	看護師 1	0
計	5 回（延 6 日）	看護師 7 人		10

第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に、次のとおり医師・看護師を派遣した。

派遣期日	行事の名称	派遣場所	派遣延べ人数	取扱患者数
7月27日	海上歓迎・放流行事の 1 か月前のリハーサル	秋田市	医師 1 看護師 1	3
8月10日	式典行事の 1 か月前リハーサル		医師 1 看護師 1	1
9月7日	式典行事の前日リハーサル		医師 1 看護師 1	2
	海上歓迎・放流行事の前日のリハーサル		医師 1 看護師 1	3
	歓迎レセプション		看護師 1	0
	関連行事の本番 1 日目		看護師 1	0
9月8日	式典行事		医師 1 看護師 1	0
	海上歓迎・放流行事		医師 1 看護師 1	5
	関連行事の本番 2 日目		看護師 1	1
計	9 回（延 4 日）	医師 6 人・看護師 9 人		15

4. 「赤十字防災セミナー」の実施状況

災害に対する意識や発生時に対する対処方法・応急手当についての知識や技術を習得していただくことを目的に、次のとおり実施した。

内容

- ①赤十字と災害救護について
- ②災害時のマメ知識
- ③非常炊き出し実習
- ④救急法等
- ⑤避難所で役立つ知識と技術

⑥災害エスノグラフィ

⑦DIG（災害図上訓練）

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 者
秋 田 市	5 月18日	ライオンズマンション千秋公園 管理組合	一 般	40	1.5	(※)竹内・渡辺
	6 月15日	秋田市大住地区自主防災連絡協 議会	一 般	96	2	(支)碓谷
	6 月21日	(株)中山組	一 般	24	1	(支)碓谷
	6 月23日	秋田市黒沼協和会	一 般	32	2	(※)竹内・高橋邦
	7 月12日	秋田県立秋田南高等学校	高 校 生	19	1.5	(支)碓谷
	8 月22日	日赤秋田県支部	一 般	13	1	(支)碓谷・高橋 (支)鎌田・須藤
	8 月30日	秋田市立高清水小学校	児 童 ・ 教 員 地域住民	232	2	(支)碓谷・稲岡 (※)菅原
	9 月18日	秋田市中央市民サービスセンター	一 般	21	1.5	(支)稲岡
	9 月20日	秋田市西部市民サービスセンター	奉仕団員	22	1.5	(支)稲岡
	9 月21日 ～22日	AKITA 防災キャンプフェス実 行委員会	一 般	150	13	(支)碓谷・松橋 (※)八代・渡辺・ 高橋邦 (※)松渕・岡部
	10月 6 日	秋田市三皇竹原町内会	一 般	21	1	(支)碓谷
	10月23日	秋田市築山地区社会福祉協議会	一 般	92	1.5	(支)稲岡
	10月26日	秋田市飯島街道町内会	一 般	21	2	(血)若林 (※)藤田・岡部
	10月30日	秋田県立新屋高等学校	高 校 生	32	1.5	(支)碓谷 (※)松渕・藤田
	11月10日	秋田市新屋勝平地区社会福祉協 議会	一 般	93	1	(支)稲岡
	11月11日	秋田市城東町内会	一 般	15	1	(支)碓谷・松橋
	12月10日	秋田市茨島三皇通町内会	一 般	14	1.5	(支)碓谷 (※)佐々木靖
能 代 市	11月17日	向能代自治連合協議会	奉仕団員 一 般	48	2	(支)碓谷 (※)佐藤勇・竹内
横 手 市	7 月 5 日	横手市赤十字奉仕団横手分団朝 倉班	奉仕団員 一 般	50	2.5	(支)鎌田 (※)高橋文
	9 月 3 日	日赤横手市地区大雄分区	奉仕団員	67	1.5	(支)稲岡
	11月26日	日赤横手市地区	奉仕団員	58	1.5	(支)稲岡
	11月24日	横手市赤十字奉仕団大森分団 大森火災予防婦人会	奉仕団員 一 般	25	2.5	(※)竹内・土井雅 (※)土井智・高橋文

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 者
大 館 市	2月23日	大館市比内町扇田まちづくり協議会	一 般	32	2	(※)竹内・糸屋幸・岡部
男 鹿 市	10月2日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	13	2	(支)鎌田 (※)秋山・藤田
	11月5日	男鹿市立潟西中学校	生徒・職員 地 域 住 民	102	1.5	(支)稲岡 (※)菅原
湯 沢 市	7月3日	湯沢市幡野地区自治協議会	一 般	71	3	(支)碓谷 (※)土井雅・土井智・高橋文
鹿 角 市	11月26日	八幡平子ども会育成連絡協議会	小・中学生 保 護 者	25	1.5	(支)碓谷・鎌田
由利本荘市	9月5日	由利本荘市婦人団体連絡会議会	奉仕団員	93	2	(支)稲岡
	9月19日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉仕団員 一 般	75	3	(支)稲岡(※)武田
	10月19日	日赤由利本荘市地区西目分区	奉仕団員 一 般	53	2	(※)菅原・武田
	12月7日	日赤由利本荘市地区大内分区	奉仕団員	22	3	(支)碓谷・稲岡
潟 上 市	6月2日	日赤潟上市地区	一 般	51	1	(支)碓谷
	6月9日	潟上市追分西西町内会	一 般	28	2	(※)高橋邦・竹内
	8月8日	日赤潟上市地区	一 般	18	1	(支)鎌田 (※)梅田・秋山
大 仙 市	8月29日	日赤大仙市地区中仙分区 大仙市立中仙中学校	生徒・教員	180	2	(支)鎌田 (※)梅田・糸屋幸・高橋文 (※)中仙赤十字奉仕団10名
	9月8日	大仙市刈和野小野町内会	一 般	42	1	(支)碓谷
	10月9日	大仙市協和地区民生児童委員協議会	奉仕団員 一 般	48	1.5	(支)稲岡
	10月29日	日赤大仙市地区	奉仕団員 生 徒 一 般	200	4	(支)稲岡 (※)武田・菅原・伊藤三
仙 北 市	8月3日	仙北市社会福祉協議会	奉仕団員 一 般	47	2	(支)碓谷
小 坂 町	7月24日	小坂町立小坂小学校・中学校	教 職 員	32	3	(※)糸屋賢・梅田 (※)佐々木靖・根本
八 峰 町	9月10日	八峰町子育て支援センター	一 般	10	1	(支)碓谷
	11月9日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉仕団員 一 般	34	2	(支)碓谷 (※)佐藤勇
	2月26日	八峰町峰浜赤十字奉仕団	奉仕団員	21	2	(支)稲岡
八 郎 潟 町	8月29日	八郎潟町ボランティア連絡協議会 八郎潟町社会福祉協議会	奉仕団員 一 般	68	3	(支)稲岡 (※)武田

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
美 郷 町	10月 9 日	日赤美郷町分区	奉仕団員	21	2	(支)碓谷 (※)糸屋幸・藤田
東 成 瀬 村	1 月17日	東成瀬村赤十字奉仕団	奉仕団員 一 般	30	2	(支)碓谷 (※)佐々木清
計		46回		2,501	96	

※指導者欄の(支)は支部職員、(血)は血液センター職員、(※)はボランティアを表す。

5. 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

寄 贈 台 数	3 台
車 種	ワゴン R（軽四輪自動車）
寄 贈 市 町	横手市・藤里町・八郎潟町
累 計	91台（平成15年度～）

6. 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) 移動炊飯器

配置台数	6 台
配置地区・分区	男鹿市・湯沢市・由利本荘市・仙北市・美郷町・井川町
累 計	86台（平成20年度～）

(2) A E D（自動体外式除細動器）

配置台数	5 台
配置地区・分区	秋田市・能代市・大館市・八峰町・井川町
累 計	124台（平成20年度～）

(3) 発電機

配置台数	9 台
配置地区・分区	能代市・横手市・大館市・由利本荘市（2 台）

大仙市（2台）・三種町・美郷町
 累 計 50台（平成26年度～）

(4) ワンタッチテント

配置台数 13張
 配置地区・分区 横手市（3張）・大館市・湯沢市・鹿角市
 由利本荘市（2張）・潟上市・大仙市（3張）
 上小阿仁村
 累 計 52張（平成28年度～）

7. 救護資器材の整備

- ・業務用無線機（150MHz 帯基地局、150MHz 車載型 1 機）更新整備
- ・救護班装備（救護作業服、安全靴）

8. 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（令和2年3月31日現在）

施設別	人 数（人）		
	災害対策本部要員	救護班要員	血液供給要員
支 部	5	—	—
病 院	6	69	—
血液センター	2	—	3
計	13	69	3

※病院の災害対策本部要員については日赤災害医療コーディネートチームであり

内訳は次のとおり

- ・日赤災害医療コーディネーター 2人
- ・日赤災害医療コーディネートスタッフ 5人

(2) 救護班の編成状況

(令和2年3月31日現在)

常置施設	救護班数(班)	救護班要員数(人)	職種別要員数(人)
病院	9	69	医師 9 看護師長 9 看護師 18 主事 21 薬剤師 9 助産師 3

(3) こころのケア指導者・要員の登録状況

(令和2年3月31日現在)

施設別	人数(人)	
	こころのケア指導者	こころのケア要員
支部	—	4
病院	6	91
血液センター	—	1
計	6	96

(4) 日本DMAT隊員の登録状況

(令和2年3月31日現在)

常置施設	隊員登録者数(人)	職種別要員数(人)
病院	25	医師 6 看護師 11 業務調整員 8

9. 防災ボランティア登録状況

(令和2年3月31日現在)

区 分	登録団体数	男女別数 (人)		計 (人)
団体	1	男	82	86
		女	4	
個人	—	男	20	31
		女	11	
防災ボランティア・リーダー	—	男	5	6
		女	1	
計	1	男	107	123
		女	16	

10. 救護資器材の主な装備状況

資 器 材 名	数 量	備 考
150MHZ 帯業務用無線機	33	基地局 1、移動局23、携帯用 9 (血液センターを含む)
400MHZ 帯業務用無線機	24	基地局 1、移動局 9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用 (内、携帯用 2)
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	5	
投光器	2	
担架	15	
スクープストレッチャー	1	救急用担架
折りたたみ寝台	39	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	3	病院
災害救援車	6	支部

資 器 材 名	数 量	備 考
エアーテント	2	患者収容用 1、診察用 1
組立てトイレ	47	
浄水機	1	
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
パーソナルコンピューター	2	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4色（黒・赤・黄・緑）× 2組
パルスオキシメーター	1	
AED	1	
フレームテント	2	
ポータブルテレビ	1	
モバイルプリンター	1	
デジタル個人線量計	14	
空中線量率測定用サーベイメータ	1	

11. 救援物資の備蓄状況

品 名	数 量
毛 布	2,510枚
緊 急 セ ッ ト	1,554個
安 眠 セ ッ ト	569個

12. 救護看護師の養成等

- (1) 「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された３年目の看護師を対象に５日間の研修を実施した。（修了者20人）
- (2) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学在校生228人（看護学科210人、介護福祉学科18人）に対し、救急法等講習教材（救急法等講習教本、教材セット）を贈呈した。

13. 義援金（救援金）の受付状況

（令和２年３月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	41	875,534
平成28年熊本地震災害義援金	5	15,886
平成29年７月５日からの大雨災害義援金	2	3,143
平成30年７月豪雨災害義援金	14	330,687
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	17	202,609
令和元年８月豪雨災害義援金	30	626,832
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	39	2,131,331
令和元年台風第15号東京都義援金	11	162,990
令和元年台風第19号災害義援金	447	15,500,909
計	606	19,849,921

7. 救急法・健康生活支援講習等の普及

1. 総 括 表

	講 習 名 称	回 数 (回)	受講者数 (人)	資格修得者数 (人)
救 急 法	基礎講習	22	536	536
	救急員養成講習	18	459	455
	短期講習	174	7,369	
	計	214	8,364	991
健康 生活 支援 講習	支援員養成講習	4	121	121
	災害時高齢者生活支援講習	36	2,186	
	短期講習	49	1,973	
	計	89	4,280	121
水 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	1	11	10
	短期講習	30	1,078	
	計	31	1,089	10
幼 児 安 全 法	支援員養成講習	4	125	124
	短期講習	73	882	
	計	77	1,007	124
雪 上 安 全 法	救助員Ⅰ養成講習	1	11	11
	短期講習	0	0	
	計	1	11	11
総 計		412	14,751	1,257

2. 救 急 法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取 得者数
秋 田 市	4月25日	(株)ユアテック秋田支社	従 業 員	10	4	(注)松橋 (注)竹内	
	4月26日	特別養護老人ホーム うぐいす城東	介 護 職 員	10	1	(注)松橋	
	5月8日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	36	4	(注)淀谷 (注)梅田	
	5月18日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	35	1	(注)竹内	
	5月21日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	42	2	(注)淀谷・松橋 (注)松淵・佐々木靖	
	5月21日	秋田県赤十字血液センター	中 学 生	8	2	(注)若林	
	5月23日	秋田県立循環器・脳脊髄 センター	理学療法士等	35	1	(注)長谷川	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	6 月11日	秋田南高等学校・中中部	教 職 員	26	1.5	(※)松渕・竹内	
	6 月12日	秋田南高等学校・中中部	教 職 員	11	1.5	(※)佐々木靖・竹内	
	6 月14日	秋田県労働基準協会	一 般	98	2.5	※別記1のとおり	
	6 月15日	日赤秋田県支部	一 般	15	4	(※)松橋 (※)中山・竹内	
	6 月18日	秋田県社会福祉協議会	一 般	50	0.5	(※)高橋・鎌田・須藤	
	6 月21日	(株)中山組	従 業 員	48	1	(※)碓谷	
	6 月22日 ～23日	日赤秋田県支部	一 般	9	10	※別記2のとおり	8
	6 月23日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	5	4	※別記3のとおり	
	6 月26日 ～28日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	27	4	(※)田口・若松・小西	
	6 月28日	秋田大学教育文化学部附属小学校 PTA	小 学 生	190	1	(※)伊藤三・渡辺	
	6 月30日 7 月 7 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	5	10	※別記4のとおり	5
	7 月 2 日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	25	4	(※)津谷・清水 (※)今野・竹澤	
	7 月 3 日 ～ 4 日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	25	10	※別記6のとおり	25
	7 月 4 日	秋田北高等学校	高 校 生	160	1	(※)野呂(※)松渕 (※)佐々木靖・竹内	
	7 月 4 日	秋田北高等学校	高 校 生	175	1	(※)野呂(※)松渕 (※)佐々木靖・竹内	
	7 月 4 日	秋田北高等学校	高 校 生	155	1	(※)野呂(※)松渕 (※)佐々木靖・竹内	
	7 月 6 日	御所野小学校 PTA	保 護 者	31	1.5	(※)佐川 (※)長谷川・中山	
	7 月 8 日 ～12日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	27	10	(※)田口・小西・中川	27
	7 月11日	特別養護老人ホーム うぐいす城東	介 護 職 員	9	1	(※)松橋 (※)中山	
	7 月18日	明德小学校	保 護 者	16	1.5	(※)碓谷 (※)糸屋幸	
	7 月20日	日赤秋田県支部 秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	11	4	※別記8のとおり	
	7 月20日	新屋勝平地区振興会自主防災連絡協議会	一 般	94	1	※別記9のとおり	
	7 月21日	秋田地方气象台	一 般	56	1	(※)碓谷 (※)岡部・渡辺	
	7 月23日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	54	4	(※)碓谷・松橋 (※)新沼(※)佐々木靖	
	7 月25日 ～26日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	54	10	(※)碓谷(※)新沼 (※)松渕	53
	7 月27日	日赤秋田県支部	中学生・高校生	22	1.5	(※)碓谷・鎌田	
	7 月30日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	54	4	※別記11のとおり	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	8月1日 ～2日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	56	10	※別記12のとおり	55
	8月9日	(株)東北用地測量社	従 業 員	36	1	(注)淀谷	
	8月18日 8月24日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	4	10	※別記14のとおり	4
	8月19日	御所野高等学校	教 職 員	12	1	(注)藤田理・佐々木靖 (注)中山	
	8月26日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	18	4	(注)淀谷・松橋 (注)松淵・竹内	
	8月27日 ～28日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	18	10	(注)淀谷・松橋 (注)今野(注)竹内	18
	9月3日	秋田県教育委員会	教 職 員	21	2.5	(注)竹澤・今野	
	9月4日	特別養護老人ホーム太平荘	介 護 職 員	25	1.5	(注)松橋 (注)竹内	
	9月6日	高清水小学校	小 学 生	46	1	(注)松橋 (注)大塚・伊藤三	
	9月9日	秋田市児童育成クラブ世話人連絡協議会	会 員	72	2	(注)中山・竹内	
	9月10日	ヒロセ(株)東北支店	従 業 員	5	1	(注)松橋	
	9月14日	日赤秋田県支部	一 般	15	4	(注)淀谷 (注)板倉・竹内	
	9月15日 ～16日	日赤秋田県支部	一 般	14	10	※別記15のとおり	14
	9月18日	社会福祉法人横手福寿会	介 護 職 員	12	1	(注)鎌田 (注)藤田理・竹内	
	9月18日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	46	2	(注)松橋 (注)佐々木靖	
	9月21日	AKITA防災キャンプフェス実行委員会	一 般	150	4	(注)淀谷 (注)八代・渡辺	
	9月22日	AKITA防災キャンプフェス実行委員会	一 般	150	4	(注)松橋 (注)高橋邦・松淵・岡部	
	9月24日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	6	6	(注)佐々木	
	9月25日	日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田短期大学	大学生・短大生	300	2	(注)淀谷・松橋 (注)竹内・松淵	
	9月25日	日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田短期大学	大学生・短大生	108	1	(注)淀谷・松橋 (注)竹内・松淵	
	9月26日	(株)きららホールディングス	従 業 員	9	4	(注)渡辺	
	9月28日	日赤秋田県支部	小 学 生	24	2	(注)淀谷	
	10月6日	秋田市築地中町町内会	一 般	16	1.5	(注)板倉・竹内	
	10月8日	厚生ビル管理株式会社	警 備 員	3	1	(注)伊藤一	
	10月10日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	5	1	(注)伊藤一	
	10月11日	秋田県労働基準協会	一 般	100	2.5	※別記16のとおり	
	10月12日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(注)伊藤一	
	10月16日	秋田リハビリテーション学院	専 門 学 生	34	4	(注)佐々木 (注)長谷川・竹内	
	10月17日 ～18日	秋田リハビリテーション学院	専 門 学 生	34	10	(注)佐々木 (注)長谷川・竹内	34

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	10月20日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	2	1	(※)伊藤一	
	10月20日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	18	1	(※)竹内	
	10月26日	飯島街道町内会	一 般	42	2	(血)若林 (※)藤田理・岡部	
	10月26日	秋田県高体連登山専門部	一 般	21	2	(※)梅田	
	10月26日	秋田県防災士会	防 災 士	48	3	(※)田口・渡辺・竹内	
	10月27日	泉中町町内会	一 般	24	1	(※)岡部・竹内	
	10月27日 11月3日	秋田県赤十字救急法奉仕 団	一 般	15	10	※別記18のとおり	15
	10月28日	たんぼぼ学童保育クラブ	小 学 生	38	1	(※)藤田理・松測・竹内	
	10月30日	新屋高等学校	高 校 生	64	2	(医)淀谷 (※)藤田理・松測	
	11月5日 7日・8日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	25	4	(※)小西・中川・若松	
	11月10日	大住自衛消防隊	一 般	36	2	(※)松測・竹内	
	11月11日 ～15日	秋田県警察本部警察学校	警 察 官	25	10	(※)小西・中川・若松	25
	11月19日	秋田県労働基準協会	一 般	29	3	(医)淀谷	
	11月19日	秋田県立循環器・脳脊髄 センター	理学療法士等	33	1	(※)長谷川	
	11月20日	介護老人福祉施設 南寿 園	介 護 職 員	21	1	(※)藤田理・竹内	
	11月23日	秋田県青年赤十字奉仕団 連絡協議会	奉 仕 団 員	31	1	(医)須藤	
	12月3日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	12	1.5	(※)佐々木靖・竹内	
	12月5日	八橋三区町内会	一 般	12	1	(※)佐々木靖・竹内	
	12月7日 ～8日	秋田県赤十字救急法奉仕 団	一 般	26	10	※別記20のとおり	26
	12月10日	茨島三皇通町内会	一 般	28	1.5	(医)淀谷 (※)佐々木靖	
	12月11日	下新城小学校	小 学 生	69	1	(※)松測・佐々木靖 (※)竹内	
	12月15日	秋田県水泳連盟	ス ポ ー ツ 指 導 員 (水 泳)・ 基礎水泳指導員	24	2	(※)佐々木靖・竹内	
	12月17日	社会福祉法人 北杜	介 護 職 員	76	1	(医)淀谷 (※)竹内	
	1月9日	中通小学校 PTA	保 護 者	24	1	(※)松測・竹内	
	1月14日	秋田県立歯科医療専門学校	専 門 学 生	31	4	(医)淀谷・松橋(※)竹内 (※)佐々木靖・長谷川	
	1月15日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(※)伊藤一	
	1月15日 ～16日	秋田県立歯科医療専門学校	専 門 学 生	31	10	(医)淀谷・松橋(※)竹内 (※)佐々木靖・長谷川	31
	1月20日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	50	4	(医)淀谷・高橋・須藤 (※)松測・竹内	
	1月21日 ～22日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	49	10	(医)淀谷・須藤 (補)荻原(※)松測・竹内	49

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	1 月 24 日	秋田コアビジネスカレッジ	専 門 学 生	75	2	(関) 淀谷 (※) 藤田理・竹内	
	1 月 26 日	金足堀内町内会	一 般	18	1	(※) 竹内	
	1 月 27 日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	52	4	(関) 淀谷・須藤 (※) 竹内	
	1 月 28 日 ～ 29 日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	53	10	(関) 淀谷(関) 今野 (関) 新沼(※) 松淵・竹内	53
	2 月 7 日	秋田県労働基準協会	一 般	100	2.5	※別記21のとおり	
	2 月 10 日	秋田赤十字病院社会課	職 員	7	4	(関) 船木・竹澤・今野	
	2 月 12 日 ～ 14 日	秋田赤十字病院社会課	職 員	6	10	※別記22のとおり	6
	2 月 20 日	秋田県地質調査業協会	協 会 会 員	29	2.5	(※) 梅田・竹内	
鹿 角 市	8 月 17 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	7	4	※別記13のとおり	
	10 月 1 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(※) 伊藤一	
	11 月 26 日	八幡平子ども育成連絡協議会	小学生・中学生	25	1	(関) 淀谷・鎌田	
	12 月 10 日	比内支援学校 かつの校	高 校 生	29	1.5	(関) 高橋・松橋	
	12 月 15 日	秋田県スキー連盟	スキーパトロール	48	2.5	(※) 土井智・長谷川 (※) 土井雅	
大 館 市	7 月 19 日	大館鳳鳴高等学校	高 校 生	74	3	(関) 淀谷 (※) 長内・梅田	
	2 月 23 日	比内町扇田まちづくり協議会	会 員	32	1.5	(※) 糸屋幸・岡部・竹内	
小 坂 町	7 月 24 日	小坂小学校・小坂中学校	教 職 員	48	1.5	(※) 糸屋賢・梅田 (※) 佐々木靖・根本	
北秋田市	7 月 7 日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ール 監 視 員	26	1	(関) 松橋 (※) 長内・糸屋賢	
	10 月 9 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※) 伊藤一	
能 代 市	6 月 28 日	第四小学校	小 学 生	96	1	(※) 糸屋幸・梅田・秋山里	
	6 月 28 日	第四小学校	教 職 員	30	1.5	(※) 糸屋幸・梅田・秋山里	
	6 月 29 日	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	一 般	28	1.5	(関) 淀谷 (※) 岡部	
	7 月 22 日	能代東中学校	中 学 生	70	1	※別記10のとおり	
	9 月 30 日	能代第二中学校	中 学 生	96	1	(関) 鎌田 (※) 佐藤勇・秋山里	
	10 月 3 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(※) 伊藤一	
	10 月 7 日	能代山本スポーツリゾート センター アリナス	従 業 員	4	2	(※) 大塚	
	10 月 23 日	淳城南小学校	小 学 生	62	1	(関) 鎌田 (※) 佐藤勇・梅田・秋山里	
	10 月 26 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	20	4	※別記17のとおり	
	11 月 17 日	能代市向能代自治連合協議会	一 般	144	2	(関) 淀谷 (※) 佐藤勇・竹内	
	12 月 1 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	26	4	※別記19のとおり	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
能 代 市	12月20日	能代警察署	警 察 官	78	2	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)大塚・秋山	
八 峰 町	5月26日	椿台自治会	一 般	43	0.5	(※)佐藤勇	
	7月6日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	19	1.5	(※)佐藤勇・糸屋賢	
三 種 町	7月2日	成田建設(株)	従 業 員	207	2	(※)淀谷 (※)竹内	
	7月12日	森岳小学校	小 学 生	31	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・大塚	
	9月12日	三種町八竜赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	54	1	(※)稲岡 (※)菅原ト	
	10月20日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	10	2	(※)中山	
男 鹿 市	5月29日	弘戸小学校	小 学 生	94	1	(※)鎌田 (※)糸屋幸・梅田・秋山里	
	10月2日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	13	1	(※)鎌田 (※)藤田理・秋山里	
潟 上 市	8月8日	二田二区育成会	一 般	18	1	(※)鎌田 (※)梅田・秋山里	
	9月13日	県立支援学校天王みどり学園	生 徒	20	0.5	(※)淀谷	
	10月2日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1	(※)伊藤一	
大 潟 村	6月24日	日赤大潟村分区	監 視 員	10	1	(※)佐藤勇・糸屋幸・大塚	
由利本荘市	6月10日	西目小学校	小 学 生	155	1	(※)佐々木弘・岡部 (※)佐々木靖・佐藤美	
	6月10日	西目小学校	教 職 員	20	1	(※)佐々木弘・岡部 (※)佐々木靖・佐藤美	
	6月21日	ゆり支援学校	教 職 員	48	1	(※)淀谷 (※)佐々木弘	
	7月9日	由利本荘市中町女性の会	一 般	30	1	(※)須藤 (※)佐々木弘・佐藤美	
	8月20日	由利高等学校	教 職 員	102	1	(※)淀谷・須藤 (※)佐々木弘	
	10月5日	由利本荘市西部地区自主防災連絡協議会	一 般	180	3	(※)佐々木弘・松測・岡部	
	10月16日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一	
	11月6日	介護老人保健施設 あまさぎ園	介 護 職 員	18	2	(※)松測・竹内	
にかほ市	7月16日	仁賀保高等学校	高 校 生	750	1.5	(※)淀谷 (※)岡部	
大 仙 市	7月1日	協和小学校	教 職 員	17	1	(※)藤井	
	8月29日	中仙中学校	中 学 生	180	1	(※)鎌田 (※)糸屋幸・梅田・高橋文	
	10月15日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(※)伊藤一	
	10月29日	日赤大仙市地区	中 学 生 ・ 奉 仕 団 員	81	1	(※)稲岡 (※)菅原ト・武田・伊藤三	
	1月8日	大曲支援学校	教 職 員	84	1.5	(※)淀谷 (※)高橋文	
仙 北 市	7月1日	能代市・田沢湖赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	51	1.5	(※)淀谷 (※)阿部	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
仙 北 市	8 月 3 日	仙北市社会福祉協議会	一 般	47	1.5	(ㇿ)碓谷 (※)高橋邦・岡部・高橋文	
美 郷 町	10月 9 日	日赤美郷町分区	奉 仕 団 員	21	1	(ㇿ)鎌田 (※)藤田理・糸屋幸	
横 手 市	5 月20日	横手城南高等学校	教 職 員	20	1.5	(ㇿ)松橋 (※)阿部	
	7 月 3 日	雄物川高等学校	教 職 員	6	1.5	※別記5のとおり	
	7 月16日	十文字第一小学校	小 学 生	61	1	※別記7のとおり	
	10月 4 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一	
	10月 5 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(※)伊藤一	
	10月10日	横手城南高等学校	教 職 員	9	1.5	(※)佐々木靖・高橋文	
	10月11日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(※)伊藤一	
	11月 7 日	横手高等学校	教 職 員	56	1	(※)佐々木靖・高橋文	
	11月24日	横手市赤十字奉仕団大森分団	奉 仕 団 員	25	1.5	(※)土井智・高橋文 (※)土井雅・竹内	
湯 沢 市	5 月30日	三関小学校	教 職 員	10	1	(ㇿ)碓谷 (※)土井雅	
	6 月17日	須川小学校	教 職 員	13	1	(ㇿ)鎌田 (※)阿部	
	7 月 3 日	幡野地区自治協議会	一 般	142	2	(ㇿ)碓谷(※)土井智 (※)高橋文・土井雅	
	7 月10日	湯沢南中学校	中 学 生	114	0.5	(※)高橋佳・土井智 (※)高橋文・土井雅	
	7 月22日	須川小学校 PTA	保 護 者	28	1	(ㇿ)碓谷・松橋	
	10月21日	日赤湯沢市地区 湯沢市地区体育協会	一 般	75	1.5	(※)高橋邦・阿部	
	11月18日	湯沢市赤十字奉仕団雄勝分団	奉 仕 団 員	10	2	(㊦)竹澤 (※)阿部	
	12月 2 日	湯沢市教育委員会	スキーパトロール	42	2	(※)阿部・佐々木靖 (※)高橋文	
	2 月17日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	8	4	(ㇿ)碓谷	
	2 月18日 ～19日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	8	10	(ㇿ)碓谷 (※)高橋文	7
東成瀬村	1 月17日	東成瀬村赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	30	1	(ㇿ)碓谷 (※)佐々木清	
岩 手 県 盛 岡 市	5 月30日	(株)大京アステージ東北支店	従 業 員	40	1	(※)竹内	
	9 月20日	(株)穴吹コミュニティ盛岡営業所	従 業 員	12	1.5	(※)竹内	
宮 城 県 仙 台 市	5 月24日	(株)大京アステージ東北支店	従 業 員	168	1	(※)竹内	
計	214回			8,364	461.5		455

※指導員欄の(ㇿ)は支部職員、(㊦)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救急員養成講習（12時間）を修了し、検定の結果「救急員」に合格した者の数を表す。

※別記 1 (ㇿ)碓谷・松橋(㊦)清水・齋藤・今野・竹澤(血)若林(乳)水澤(※)梅田・竹内

※別記 2 (ㇿ)碓谷・松橋(※)高橋邦・中山・渡辺・竹内・松渕・岡部

※別記 3 (ㇿ)鎌田(※)土井智・佐野・高橋文・土井雅

※別記 4 (※)高橋邦・土井智・佐野・高橋文・土井雅・竹内・高橋佳・佐々木靖

- ※別記 5 (支)碓谷(※)土井智・佐野・高橋文・土井雅
 ※別記 6 (病)三浦洋・竹澤・鎌田・正木・岩下・清水・大原・菊地・今野・藤原
 ※別記 7 (病)竹澤(乳)野呂・水澤(※)畠山邦・三森・銭谷・糸屋幸・土井智・佐野・佐々木靖・高橋文・土井雅
 ※別記 8 (支)松橋(病)伊藤衣(※)畠山邦・佐藤勇・銭谷・糸屋幸・今井・長内・齊藤・糸屋賢・大塚・藤田ま
 ※別記 9 (支)碓谷(血)若林(乳)水澤(※)中山・板倉
 ※別記10 (支)鎌田(※)佐藤勇・糸屋幸・糸屋賢・秋山里
 ※別記11 (支)碓谷・松橋(病)新沼(※)松渕・竹内
 ※別記12 (支)碓谷・松橋(病)新沼(※)松渕・竹内
 ※別記13 (※)長内・糸屋幸・糸屋賢・根本・竹内
 ※別記14 (※)長内・糸屋幸・糸屋賢・根本・岡部
 ※別記15 (支)碓谷(病)竹澤(※)伊藤一・五十地・佐々木弘・岡部・板倉・竹内・高橋邦
 ※別記16 (支)碓谷・松橋(病)三浦洋・伊藤・竹澤・今野(血)若林(乳)佐々木(※)莊司・竹内
 ※別記17 (※)佐藤勇・柴田・長内・今井・富樫善
 ※別記18 (※)佐藤勇・長内・今井・富樫善・大塚・岡部・竹内
 ※別記19 (※)田口・莊司・松渕・板倉・竹内
 ※別記20 (※)田口・莊司・松渕・竹内・岡部・板倉
 ※別記21 (支)碓谷・鎌田・須藤(病)菊地・藤原・竹澤・今野(※)莊司・梅田・竹内
 ※別記22 (支)碓谷(病)石井・堀江・竹澤・今野

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	4月20日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール
参加者数	74人
研修内容	・講習普及方針等について ・講習内容の改訂に伴う新赤十字救急法講習について（学科・実技研修） ・ミャンマー赤十字社救急法等普及支援事業派遣報告

3. 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	5月14日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	5月16日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	5月17日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	5月17日	秋田赤十字病院看護部	一 般	22	4	(病)三浦耐・船木	
	5月23日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	5月30日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	5月31日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	6月7日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	6月13日	秋田赤十字病院看護部	看 護 師	20	1	(改)稲岡	
	6月14日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(病)牧野	
	6月21日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	6月26日	一ツ森クラブ	一 般	36	1.5	(改)稲岡	
	6月27日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	6月28日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(改)稲岡	
	7月17日 ～18日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	17	12	(改)稲岡(病)佐藤 (病)一関・松橋 (特)伊藤	17
	7月19日	高齢者教育「ふきのとう」	一 般	10	1.5	(改)稲岡	
	8月6日	秋田県南部老人福祉総合 エリア	一 般	13	1	(特)伊藤	
	8月8日	秋田市市民生活課 秋田市中央市民サービス センター	一 般	21	1	(改)稲岡	
	8月19日	秋田市南部市民サービス センター	一 般	23	1.5	(特)菅原	
	10月16日 ～17日	日赤秋田県支部	一 般	8	12	(改)稲岡 (特)伊藤	8
	11月10日	秋田赤十字病院ボランティア グループ	奉 仕 団 員 一 般	47	1	(改)稲岡	
	11月18日	秋田県年金受給者協会	一 般	56	1	(改)稲岡	
	12月13日	秋田市南部市民サービス センター	一 般	35	1	(改)稲岡	
	1月15日 ～16日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	47	12	(改)稲岡(病)鳴海・鈴木 (病)佐藤(特)伊藤	47
	1月21日	ふれあいサロン「はつら つ」	一 般	31	1	(改)稲岡	
	2月5日 2月6日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	49	12	(改)稲岡(病)伊藤 (病)佐藤(特)菅原	49
	2月20日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	2.5	(改)稲岡	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	2月20日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	33	1.5	(調)小松	
能 代 市	2月27日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員	32	1.5	(調)三浦耐	
横 手 市	4月23日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	41	0.5	(校)稲岡	
	8月6日	秋田県南部老人福祉総合エリア	一 般	13	1	(調)伊藤	
	11月26日	日赤横手市地区	奉 仕 団 員	58	0.5	(校)稲岡	
大 館 市	6月20日	大館市比内赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	33	0.5	(校)稲岡	
男 鹿 市	10月10日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	12	1.5	(調)柴田	
大 仙 市	7月12日	大仙市中仙赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	31	0.5	(校)稲岡	
	11月7日	秋田県年金受給者協会	一 般	22	1	(調)佐藤幸	
	11月21日	日赤大仙市地区仙北分区	奉 仕 団 員 一 般	51	1	(調)鎌田	
	9月3日	日赤大仙市地区大雄分区	奉 仕 団 員	67	1.5	(校)稲岡	
	12月5日	大仙市大曲赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	25	0.5	(校)稲岡	
由利本荘市	12月7日	日赤由利本荘市地区大内分区	奉 仕 団 員	22	1	(校)稲岡	
潟 上 市	9月1日	潟上市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	75	1.5	(校)稲岡	
北秋田市	10月30日	秋田県年金受給者協会	一 般	99	1	(校)稲岡	
仙 北 市	8月21日	仙北市角館町赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	22	2	(校)稲岡	
三 種 町	10月20日	三種町琴丘赤十字奉仕団	一 般	67	2	(調)佐藤(調)佐藤 (調)中山	
八 峰 町	6月12日	八峰町地域包括支援センター	一 般	12	1.5	(調)出雲	
	11月9日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	34	0.5	(校)淀谷 (調)佐藤勇	
	2月26日	八峰町峰浜赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	21	1	(校)稲岡	
五城目町	7月2日	五城目町社会福祉協議会	一 般	36	1.5	(校)稲岡	
	7月23日	五城目町社会福祉協議会	一 般	43	1.5	(校)稲岡	
	8月22日	五城目町社会福祉協議会	一 般	43	1.5	(校)稲岡	
八郎潟町	7月16日	八郎潟町赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	25	1	(校)稲岡	
	8月29日	八郎潟町ボランティア協議会 八郎潟町社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	68	1.5	(校)稲岡	
羽 後 町	11月8日	羽後町社会福祉協議会	一 般	303	0.5	(校)稲岡	
計	53回			2,094	128.5		121

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	5月18日	ライオンズマンション千秋公園 管理組合	一 般	40	1	(調)渡辺

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	5 月 26 日	日赤秋田県支部	一 般	180	5	(注)稲岡(注)松測 秋田市赤十字奉仕団 明德分団15名
	5 月 29 日	追分学校通り町内会	一 般	21	1.5	(注)稲岡
	6 月 16 日	秋田市東通町内会	一 般	23	2	(注)菅原
	6 月 25 日	秋田市医師会立秋田看護学校	専 門 学 生	36	3	(注)稲岡
	7 月 22 日	秋田県公立小・中学校女性校長 会	一 般	25	1.5	(注)稲岡
	8 月 30 日	秋田市立高清水小学校	児 童	232	0.5	(注)稲岡 (注)菅原
	8 月 30 日	秋田市立高清水小学校	一 般	15	0.5	(注)稲岡 (注)菅原
	9 月 18 日	秋田市中央市民サービスセンター	一 般	21	1.5	(注)稲岡
	9 月 20 日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	22	1.5	(注)稲岡
	10 月 23 日	秋田市築山地区社会福祉協議会	一 般	92	1.5	(注)稲岡
	11 月 10 日	秋田市新屋勝平地区社会福祉協 議会	一 般	93	1	(注)稲岡
	11 月 22 日	日赤秋田県支部	一 般	20	0.5	(注)稲岡
	12 月 2 日	手話サークルたんぽぽ	一 般	15	2	(注)稲岡
	2 月 2 日	秋田県聴覚障害者支援センター	一 般	17	2	(注)伊藤
能 代 市	9 月 17 日	日赤能代市地区	一 般	8	2	(注)菅原
横 手 市	4 月 5 日	秋田ふるさと農業協同組合 女性部十文字支部	一 般	70	1	(注)菅原
	4 月 23 日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	41	2.5	(注)稲岡
	9 月 3 日	日赤横手市地区大雄分区	奉 仕 団 員	67	1	(注)稲岡
	9 月 25 日	戸波地区いきいきサロン	一 般	8	1.5	(注)稲岡
	11 月 26 日	日赤横手市地区	奉 仕 団 員	58	1	(注)稲岡
由利本荘市	9 月 5 日	由利本荘市婦人団体連絡協議会	一 般	93	1	(注)稲岡
	9 月 19 日	由利本荘市地区由利分区	奉 仕 団 員 一 般	75	1.5	(注)稲岡
	10 月 19 日	日赤由利本荘市西目分区	奉 仕 団 員 一 般	53	1.5	(注)菅原
	12 月 7 日	日赤由利本荘市大内分区	奉 仕 団 員	22	1	(注)稲岡
男 鹿 市	9 月 1 日	男鹿市長	中 学 生	110	0.5	(調)佐藤幸
	9 月 1 日	男鹿市長	一 般	89	0.5	(調)佐藤幸
	10 月 30 日	男鹿市中央公民館	奉 仕 団 員	72	1	(調)黒井
	11 月 5 日	男鹿市立潟西中学校	中 学 生	102	1.5	(注)稲岡 (注)菅原
湯 沢 市	6 月 5 日	秋田県立湯沢翔北高等学校	高 校 生	9	2	(調)三浦則
大 仙 市	4 月 26 日	日赤大仙市地区	奉 仕 団 員	34	0.5	(注)稲岡
	6 月 18 日	大仙市ボランティア連絡協議会	一 般	65	1	(注)菅原
	10 月 9 日	大仙市協和地区民生児童委員協 議会	奉 仕 団 員 一 般	48	1.5	(注)稲岡

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
大 仙 市	10月29日	日赤大仙市地区	奉 仕 団 員 生 徒	81	1	(※)菅原・伊藤三
三 種 町	9 月12日	三種町八竜赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	54	1	(支)稲岡 (※)菅原
八 峰 町	9 月11日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	175	1.5	(支)稲岡
計		36回		2,186	51	

※健康生活支援講習全体で、89回、受講者数4,280人、講習時間179.5時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(看)は日赤看護大職員、(短)は日赤短大職員、(※)はボランティア指導員を表す。

・支援員とは支援員養成講習（12時間）を修了し、検定の結果、合格に達したものに与える資格である。

4. 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	5 月10日	秋田駅東保育園	保 育 士	9	1.5	(乳)佐々木・田口	
	5 月19日	秋田赤十字病院	一 般	9	1	(病)一関・大谷・竹澤	
	6 月 6 日	あきた保育園	保 育 士	14	1.5	(支)碓谷	
	6 月22日	秋田赤十字乳児院	一 般	16	1	(乳)保坂・野呂・水澤	
	7 月 3 日	こひつじ保育園	保 育 士	15	1.5	(支)稲岡	
	7 月 6 日	秋田赤十字乳児院	一 般	17	1	(乳)野呂・水澤	
	7 月 8 日	こひつじ保育園	保 育 士	11	1.5	(支)稲岡	
	7 月10日	あきた保育園	保 育 士	10	1.5	(支)稲岡(乳)菊地	
	7 月10日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	7 月13日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	7 月16日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	7 月16日	明德地区主任児童委員 このゆびとまれ	一 般	5	1	(乳)高杉	
	7 月17日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	6	0.5	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	7 月22日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	8	0.5	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	7 月24日 ～25日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	13	12	(支)稲岡(乳)田口 水澤	13
	7 月28日	秋田赤十字病院	一 般	16	1.5	(病)一関・大谷・竹澤 (看)鈴木	
	7 月29日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	7月31日	上北手保育園	保 育 士	11	1.5	(支)稲岡	
	8月2日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	0.5	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	8月3日	鉄道弘済会秋田認定こども園	保 育 士	17	2	(乳)佐々木	
	8月20日	はねかわ保育園	保 育 士	14	1.5	(支)碓谷	
	8月24日 ～25日	日赤秋田県支部	一 般	13	12	(支)稲岡 (※)糸屋・伊藤・長内	13
	8月28日	こどものくに保育園	保 育 士	12	1.5	(支)稲岡	
	9月3日	こどものくに保育園	保 育 士	13	1.5	(支)碓谷(乳)高杉	
	9月10日	秋田市南部市民サービスセンター	一 般	14	0.5	(支)稲岡	
	9月20日	秋田赤十字乳児院	東北・北海道 乳 児 院 職 員	48	1	(乳)野呂・菊地 高杉・佐々木	
	9月21日	秋田県キャンプ協会	児 童 ・ 保 護 者	40	2	(※)糸屋	
	9月26日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	8	1.5	(支)稲岡	
	9月28日	秋田赤十字病院	一 般	4	1.5	(病)竹澤・一関 (看)鈴木	
	9月29日	ダウン症児サークルいっぽ21	一 般	4	1.5	(乳)野呂	
	10月6日	日赤秋田県支部	高 校 生	29	3	(支)稲岡(※)伊藤	
	11月9日	秋田駅東保育園	保 育 士	9	2	(乳)野呂	
	11月10日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	6	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	11月13日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	2	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	11月16日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	2	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	11月19日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	4	1	(乳)野呂・水澤・菊地 高杉・田口	
	11月21日	秋田市保育協議会保健部会	保 看 育 護 士 師	36	2	(支)稲岡(※)大内	
	11月23日	秋田県	一 般	12	1	(乳)野呂・水澤・保坂	
	11月24日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	2	1	(乳)野呂	
	11月26日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	2	1	(乳)野呂	
	11月27日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	2	1	(乳)野呂	
	12月1日	秋田赤十字病院	一 般	7	1.5	(病)一関・児玉 大谷・竹澤	
	12月4日	秋田赤十字乳児院	保 看 育 護 士 師	5	1	(乳)野呂	
	12月6日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	1	0.5	(乳)野呂	
	12月7日	秋田県	一 般	11	1.5	(乳)野呂・水澤・保坂	
	12月23日	秋田赤十字乳児院	一 般	4	1.5	(乳)野呂	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	1 月 2 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士 師	2	1	(乳)野呂	
	1 月11日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)水澤・野呂	
	1 月13日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)高杉	
	1 月14日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)高杉・水澤	
	1 月16日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)田口	
	1 月18日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)野呂・高杉	
	1 月21日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)水澤・野呂	
	1 月23日 ～24日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	49	12	(支)稲岡(大)鈴木 (病)大谷・白鳥・児玉 (※)伊藤・松渕	48
	1 月28日	白百合保育園	保 育 士	22	1.5	(支)稲岡(乳)野呂	
	1 月30日	白百合保育園	保 育 士	18	1.5	(支)稲岡(乳)高杉	
	2 月 2 日	秋田県	一 般	2	0.5	(乳)野呂	
	2 月 3 日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	0.5	(乳)水澤・野呂	
	2 月13日 ～14日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	50	12	(支)稲岡(大)鈴木 (病)伊藤千・一関 (※)伊藤・菅原	50
	2 月18日	北保育園	保 育 士	10	1.5	(支)稲岡(※)松渕	
	2 月19日	北保育園	保 育 士	5	1.5	(支)稲岡	
能 代 市	7 月 4 日	二ツ井子ども園	保 育 士	15	1	(支)稲岡(乳)菊地	
	7 月 9 日	二ツ井子ども園	保 育 士	17	1	(支)稲岡(※)糸屋	
大 館 市	7 月 1 日	大館市立有浦保育園	保 育 士	45	1	(※)糸屋	
	9 月21日	秋田県キャンプ協会	一 般	40	1	(※)糸屋	
男 鹿 市	9 月13日	男鹿市立玉ノ池保育園	保 護 者	10	1	(乳)水澤	
	2 月 8 日	子育て支援グループニコ リーフ	一 般	10	1.5	(※)鎌田	
大 仙 市	12月10日	大曲東保育園	保 護 者	48	1	(支)稲岡	
鹿 角 市	7 月 5 日	八幡平なかよしセンター	一 般	16	0.5	(補)糸屋・長内	
	7 月 5 日	八幡平なかよしセンター	一 般	12	0.5	(※)糸屋・長内	
由利本荘市	11月13日	本荘保育園	保 育 士	14	1.5	(支)須藤	
	11月13日	本荘保育園	保 育 士	14	1.5	(支)須藤	
	11月18日	由利本荘医師会立 由利本荘看護学校	看 護 学 生	40	2	(乳)佐々木 (※)佐々木弘	
仙 北 市	6 月 4 日	仙北市民福祉課	一 般	8	1	(乳)佐々木・高杉	
	11月20日	仙北市民福祉課	一 般	17	1	(乳)野呂	
八 峰 町	9 月10日	八峰町子育て支援センター	一 般	10	1	(支)碓谷	
大 潟 村	7 月30日	日赤大潟村分区	保 育 士	16	1.5	(支)須藤	
計	77回			1,007	132		124

※講習回数77回、受講者数1,007人、講習時間132時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(看)は日赤看護大職員、(乳)は赤十字乳児職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（12時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第 8 条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	6 月 8 日
会 場	秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
参加者数	30人
研修内容	・平成30年度の講習実施状況 ・講師研修会からの伝達事項 ・実技の確認（PBLS 等） ・短期講習の検討（グループワーク）

5. 水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	7 月 18 日	明德小学校 PTA	保 護 者	16	0.5	(※)糸屋幸	
	7 月 19 日 ～21 日	日赤秋田県支部 赤十字水上安全法奉仕団	一 般	11	14	※別記 1 のとおり	10
	8 月 3 日	向浜スポーツゾーン総合 事務所	一 般	21	1.5	(支)松橋 (※)大塚	
	9 月 5 日	勝平小学校	小 学 生	59	1	(支)松橋(乳)佐々木 (※)畠山邦・伊藤三	
	9 月 5 日	勝平小学校	小 学 生	60	1	(支)松橋(乳)佐々木 (※)畠山邦・伊藤三	
	9 月 6 日	高清水小学校	小 学 生	33	0.5	(支)松橋 (※)秋山里・伊藤三	
	9 月 13 日	旭南小学校	小 学 生	60	1	(支)松橋(乳)佐々木 (※)畠山邦・伊藤三	
鹿 角 市	7 月 5 日	八幡平なかよしセンター	保 育 士	56	2	(※)糸屋幸・長内・ 糸屋賢	
大 館 市	7 月 1 日	有浦保育園	保 育 士	90	1	(※)糸屋幸・糸屋賢	
北秋田市	7 月 7 日	日赤北秋田市地区	監 視 員	52	1	(支)松橋 (※)長内・糸屋賢	
能 代 市	7 月 9 日	第五小学校	小 学 生	73	1.5	(※)佐藤勇・大塚 (※)秋山里・伊藤三	
	7 月 10 日	第四小学校	小 学 生	87	1	※別記 2 のとおり	
	8 月 30 日	淳城西小学校	小 学 生	74	1	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)大塚・秋山里	
	8 月 30 日	淳城西小学校	小 学 生	72	1	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)大塚・秋山里	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
三 種 町	7月12日	森岳小学校	小 学 生	31	0.5	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)大塚	
	7月16日	琴丘小学校	小 学 生	71	1.5	(※)佐藤勇・糸屋賢 (※)大塚・伊藤三	
潟 上 市	9月9日	東湖小学校	小 学 校	33	1	(支)松橋 (※)畠山邦・伊藤三	
大 潟 村	6月24日	日赤大潟村分区	一般・監視員	20	1	(※)佐藤勇・糸屋幸 (※)大塚	
由利本荘市	7月8日	由利本荘市教育委員会	小 学 生	46	1	(支)高橋・松橋 (※)大塚・伊藤三	
	9月3日	岩谷小学校	小 学 生	27	1	(支)高橋・松橋	
にかほ市	7月11日	にかほ市教育委員会	監 視 員	20	1	(※)糸屋幸・大塚	
横 手 市	4月15日	秋田県南部老人福祉総合エリア	監 視 員	16	1.5	(支)松橋 (※)糸屋幸	
	7月16日	十文字第一小学校	小 学 生	61	1	※別記3のとおり	
計	31回			1,089	37.5		10

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(乳)は乳児院職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（14時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

※別記1 (支)松橋 (病)伊藤衣(※)畠山邦・佐藤勇・三森・銭谷・糸屋幸・今井・長内・齊藤・糸屋賢・大塚・秋山克・伊藤三・藤田ま

※別記2 (乳)佐々木(※)佐藤勇・糸屋幸・糸屋賢・大塚・秋山里

※別記3 (病)竹澤(※)畠山邦・銭谷・糸屋幸・大塚・藤田ま

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

第1回目

期 日	4月20日～21日
会 場	秋田県社会福祉会館 2階展示ホール（20日） 秋田県社会福祉会館 8階合同研修室（21日）
参加者数	20人
研修内容	・講習普及方針等について ・教本改訂に伴う新教本内容、新指導要領について（学科研修） ・ミャンマー赤十字社救急法等普及支援事業派遣報告

第2回目

期 日	6月29日
会 場	秋田県立総合プール

参加者数 19人

研修内容

- ・水上安全法救助員養成講習に向けて昨年度の振り返りと今年の展開
- ・水上安全法救助員養成講習実技確認

6. 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	2月15日	日赤秋田看護大学・短期大学 赤十字防災教育委員会	大 学 生	11	7	(病)竹澤	11
計	1回			11	7		11

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（7時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7. 救急法等指導員登録状況

(令和2年3月31日現在)

講 習 別	人 数 (人)		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	36	58	94
健 康 生 活 支 援 講 習	27	7	34
水 上 安 全 法	6	22	28
幼 児 安 全 法	20	14	34
雪 上 安 全 法	1	0	1
計	90	101	191

8. 赤十字奉仕団等

1. 組織状況

(令和2年3月31日現在)

奉仕団名		団数(団)	団員数(人)		
			男	女	計
地域奉仕団		53	5,440	15,629	21,069
特別奉仕団	青年奉仕団	5	51	107	158
	秋田県点訳赤十字奉仕団	1	2	6	8
	秋田県赤十字芸能奉仕団	1	9	56	65
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	27	2	29
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	17	5	22
	秋田県赤十字救急法奉仕団	1	34	24	58
	秋田県赤十字災害救護奉仕団	1	8	2	10
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	104	20	124
	特殊奉仕団 計	7	201	115	316
合 計		65	5,692	15,851	21,543

(1) 地域赤十字奉仕団

(令和2年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団数(団)	班数(班)	団員数(人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23.11.20	高橋知子	13	0	0	231	231
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32. 3.26	鈴木一枝	0	0	0	61	61
能代市赤十字奉仕団	S34. 4. 1	石川鋭子	20	72	13	422	435
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44. 7. 5	齊藤正子	7	0	2	240	242
横手市赤十字奉仕団	S45. 4. 1	小棚木美和子	5	103	24	2,234	2,258
大館市大館赤十字奉仕団	S33. 9.17	櫻田玲子	10	104	0	1,350	1,350
大館市比内赤十字奉仕団	S35. 6.24	高松愛子	4	0	0	640	640
大館市田代赤十字奉仕団	S36. 6. 1	佐藤かよ子	11	0	0	202	202
男鹿市赤十字奉仕団	S40. 4. 1	吉田萬里子	7	14	0	269	269
湯沢市赤十字奉仕団	S29. 4. 1	北村ルミ子	5	43	0	295	295
鹿角市赤十字奉仕団	S27. 6. 1	阿部美幸	3	27	0	186	186
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37. 4. 1	畠山恵美子	2	0	0	16	16
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48. 4. 1	鈴木とみ子	2	2	0	162	162

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48.12. 1	藤 原 俊 子	1	0	0	65	65
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38. 4.25	阿 部 タツ子	6	0	0	37	37
由利本荘市島海赤十字奉仕団	S33. 5.31	三 森 ハ マ	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33. 6.18	土 田 典 子	1	0	0	40	40
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32. 4. 1	庄 司 和 子	0	0	14	13	27
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45.10. 1	潟 保 博 子	3	3	0	86	86
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17. 3.22	小 玉 喜久子	3	57	0	1,107	1,107
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43. 4. 1	森 川 クミ子	7	317	4,453	2,383	6,836
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33. 5.15	佐 藤 あや子	1	63	0	172	172
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30. 3.31	高 橋 トモ子	6	0	0	359	359
大仙市太田赤十字奉仕団	S30. 3.30	高 橋 千恵子	3	0	0	77	77
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37. 4. 1	寺 田 要 子	9	183	16	151	167
大仙市神岡赤十字奉仕団	S37. 4. 1	齊 藤 レ ッ	0	0	0	20	20
大仙市協和赤十字奉仕団	S33. 8. 2	佐 藤 けい子	1	0	1	124	125
大仙市南外赤十字奉仕団	S45. 4. 1	高 橋 妊 子	1	42	15	65	80
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26. 5. 1	中 嶋 洋 子	8	0	0	837	837
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37. 4. 1	小 林 節 子	27	27	0	376	376
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33.12. 2	佐々木 敬 子	16	75	0	205	205
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30. 4. 1	福 岡 史 恵	15	84	0	300	300
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62. 6. 2	白 瀬 美弥子	0	0	0	18	18
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62.11.27	村 上 和 美	0	0	0	97	97
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53. 6. 1	阿 曾 綾 子	0	0	0	14	14
仙北市角館町赤十字奉仕団	S63. 4. 1	赤 川 和 子	4	175	54	132	186
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33. 4. 1	佐 藤 リ ヨ	3	0	32	92	124
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33. 4.25	門 脇 トキヨ	1	0	0	33	33
小 坂 町 赤 十 字 奉 仕 団	S32. 4. 1	小笠原 シゲ子	1	4	1	15	16
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23. 4. 1	伊 藤 明 美	18	20	25	365	390
藤 里 町 赤 十 字 奉 仕 団	S23. 4. 1	淡 路 高 江	4	0	0	250	250
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55. 3.23	鎌 田 まさ子	0	0	37	129	166

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
三種町山本赤十字奉仕団	S52. 3.14	伊 藤 ツヤ子	1	107	7	117	124
三種町八竜赤十字奉仕団	S34. 4. 1	堀 田 キミ子	5	7	0	64	64
八峰町八森赤十字奉仕団	S48. 5. 1	岡 田 正 子	3	0	0	107	107
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43. 4. 1	武 田 えみ子	0	0	0	51	51
五城目町赤十字奉仕団	S23. 4.26	小 野 サダ子	3	3	0	72	72
八郎潟町赤十字奉仕団	S45. 7. 1	佐 藤 操	0	0	0	70	70
井川町赤十字奉仕団	S30. 2. 1	伊 藤 律 子	18	0	0	288	288
大潟村赤十字奉仕団	S44.11. 1	松 崎 信 子	1	6	0	40	40
美郷町赤十字奉仕団	H16.11. 1	森 元 博 美	3	120	97	276	373
羽後町赤十字奉仕団	S33. 9. 1	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33. 7.30	鈴 木 キミコ	16	89	309	320	629
計	53 団		288	1,812	5,440	15,629	21,069

(2) 青年赤十字奉仕団

(令和2年3月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38. 4. 1	三 浦 泰 輔	佐々木 恵 子	8	11	19
日赤秋田看護大・短大学生赤十字奉仕団	H 8.11.29	鷺 谷 京 香	伊 藤 一 愛	2	60	62
ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団	H13. 4.26	佐々木 ゆりか	藤 原 和 聖 山 本 元 太	32	6	38
秋 田 県 立 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H18. 6. 1	長 沢 咲 希	渡 邊 理 子	5	26	31
秋 田 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H27 .4.26	中 鉢 愛 理	佐々木 大 樹	4	4	8
計	5 団			51	107	158

(3) 特殊赤十字奉仕団

(令和2年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S41.11.1	鈴木敦子	吉田圭子	2	6	8
秋田県赤十字芸能奉仕団	S42.5.4	小野敏実都	中村久夫 石塚喜一 藤間寿綾	9	56	65
秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	S46.12.19	石川和男	相沢喜弥	27	2	29
秋田県赤十字水上安全法奉仕団	S53.6.10	畠山邦男	銭谷郁雄 小柳祐太郎	17	5	22
秋田県赤十字救急法奉仕団	S60.6.28	田口昇	佐々木清志 長内昭健 竹内健司	34	24	58
秋田県赤十字災害救護奉仕団	H11.8.28	八代千春	竹内健司 高橋邦明	8	2	10
秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	H15.4.1	眞井田恭雄	柴田正臣 伊藤藤朋 佐藤勲夫	104	20	124
計		7 団		201	115	316

2. 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会

期 日 4月10日
 会 場 秋田県社会福祉会館9階第3会議室
 出席者数 21人(地域15人・特奉6人)
 内 容 ①赤十字奉仕団活動状況等について
 ②役員改選について

赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4月10日
 会 場 秋田県社会福祉会館10階大会議室
 出席者数 48人(団員42人・特奉6人)
 内 容 ①赤十字奉仕団秋田県支部委員会報告
 ②DVD「赤十字この1年」
 ③平成30年度事業概要報告

④血液事業について

⑤DVD視聴

「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦の証言」

⑥平成31年度事業計画

⑦奉仕団活動の課題について

(取組事例の紹介とフリートーク)

⑧その他

(2) 赤十字奉仕団中央委員会

期 日 5月30日～5月31日

会 場 日本赤十字社

出席者 支部委員会副委員長 高橋 トモ子

(3) 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

期 日 11月13日～14日

会 場 秋田温泉さとみ

出席者数 地域奉仕団 86人

特殊奉仕団 5人

支部委員会 5人

講師 1人

内 容 ①講演「赤十字よもやま話」

日本赤十字秋田看護大学

特任教授 井上 忠男 氏

②「赤十字奉仕団とは」

「ボランティア活動のリーダーになろう」

「県内の赤十字奉仕団活動の紹介」

③グループディスカッション

「自分たちが出来る活動について」

3. 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア. 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・献血推進事業に関する奉仕
- ・災害救護業務に関する奉仕
- ・社会福祉施設への訪問
- ・地域高齢者支援に関する奉仕
- ・その他社会福祉に関する奉仕

イ. その他特徴ある活動

1) 秋田県赤十字奉仕団北秋田地区大会

期 日	4月26日
会 場	上小阿仁村生涯学習センター
出席者数	北秋田市・上小阿仁村赤十字奉仕団 108人
内 容	①奉仕団活動状況報告（上小阿仁村赤十字奉仕団） ②DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦の証言」

2) 秋田市・大仙市中仙赤十字奉仕団交流研修会

期 日	7月12日
会 場	中仙農村改善センター
出席者数	秋田市赤十字奉仕団 13人 大仙市中仙赤十字奉仕団 18人 日赤秋田県支部 2人
内 容	①DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦の証言」 ②健康生活支援講習 ③各奉仕団の活動について情報交換

3) 第6回 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日 9月11日

会 場 能代温泉「湯らくの宿のしろ」

出席者数 八峰町峰浜赤十字奉仕団 22人

八峰町八森赤十字奉仕団 15人

能代市赤十字奉仕団 73人

能代市二ツ井町赤十字奉仕団 60人

支部指導講師 1人

地区・分区職員 4人

日赤秋田県支部 3人

内 容 ①DVD

「別れの乳房」制作に当たって

日本赤十字社秋田県支部事務局長 梅井 一彦

DVD視聴

「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦の証言」

②講演

「ミャンマー赤十字救急法普及支援事業に参加して」

講師 赤十字救急法指導員 大塚 貴代 氏

③赤十字健康生活支援講習から「災害時の豆知識」

④交流レクリエーション

指導 日本レクリエーション協会

公認コーディネーター 小栗 將子 氏

4) 北秋田市森吉赤十字奉仕団研修会

期 日 2月17日

会 場 森吉コミュニティセンター

出席者数 北秋田市森吉赤十字奉仕団 63人

自治会長 1人

日赤秋田県支部 3人

内 容 ①活動資金の使い道や活動について

②DVD視聴

「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦の証言」

ウ. 施設見学等

1) 赤十字関係団体

期 日	奉 仕 団 名	人 員	内 容
6 月 6 日	潟上市赤十字奉仕団天王分団	33	日本赤十字社秋田県支部 ・赤十字の概要 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」 ・備蓄倉庫見学
6 月17日	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	22	秋田赤十字病院 ・ドクターヘリ見学 日赤秋田看護大学・短期大学見学
6 月20日	大館市比内赤十字奉仕団	33	日本赤十字社秋田県支部 ・赤十字の概要 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」 ・健康生活支援講習 ・備蓄倉庫見学 秋田赤十字病院 ・ドクターヘリ見学
6 月26日	由利本荘市大内赤十字奉仕団	23	日本赤十字社秋田県支部 ・赤十字の概要 ・DVD視聴 「別れの乳房97歳赤十字従軍看護婦の 証言」
7 月16日	八郎潟町赤十字奉仕団	25	日本赤十字社秋田県支部 ・赤十字の概要 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」 ・健康生活支援講習 ・備蓄倉庫見学
8 月26日	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	39	日赤秋田看護大学・短期大学見学
9 月24日	にかほ市象潟赤十字奉仕団	13	日本赤十字社秋田県支部 ・赤十字の概要 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」 ・備蓄倉庫見学
10月 8 日	北秋田市阿仁赤十字奉仕団	19	秋田赤十字乳児院見学 秋田赤十字病院 ・ドクターヘリ見学
10月24日	由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	22	日本赤十字社秋田県支部 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」
10月25日	由利本荘市矢島赤十字奉仕団	17	日本赤十字社秋田県支部 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」
10月28日	大仙市協和赤十字奉仕団	30	日赤秋田看護大学・短期大学見学 秋田赤十字病院 ・ドクターヘリ見学

期 日	奉 仕 団 名	人 員	内 容
10月31日	にかほ市金浦赤十字奉仕団	12	日本赤十字社秋田県支部 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」 日赤秋田看護大学・短期大学見学
11月19日	由利本荘市東由利赤十字奉仕団	10	日本赤十字社秋田県支部 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」
11月21日	大仙市太田赤十字奉仕団	14	秋田赤十字乳児院見学 秋田赤十字病院 ・ドクターヘリ見学
12月 5 日	大仙市大曲赤十字奉仕団	25	日本赤十字社秋田県支部 ・DVD視聴 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦 の証言」 ・備蓄倉庫等の見学 ・健康生活支援講習
1 月10日	大仙市中仙赤十字奉仕団	37	日本赤十字社秋田県支部 ・講演「あまり知られない赤十字の話 赤十字マークから皇室との関 係まで」 日本赤十字秋田看護大学 特任教授 井上 忠男氏
計16回		372	

2) 赤十字関係団体以外

期 日	団 体 名	人 員	内 容
11月28日	秋田市東地区社会福祉協議会	49	・DVD視聴 「別れの乳房97歳赤十字従軍看護婦の 証言」 ・日赤秋田看護大学・短期大学見学
計 1 回		49	

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 青年奉仕団第1ブロック協議会への参加

期 日 6月1日～2日

会 場 岩手県「ホテルパールシティ盛岡」

参 加 者 日本赤十字秋田看護大学・短期大学学生赤十字奉仕団 委員長 竹内 葉月

イ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「被災地での被災者支援活動」への参加

期 日 10月26日～27日

会 場 福島県南相馬市北原団地

参 加 者 11人

ウ. 団員研修会

期 日 11月23日
会 場 秋田市「アトリオン」
参 加 者 32人

エ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「東日本大震災義援金募金活動」

※3月11日に実施する予定であったが新型コロナウイルスによる感染症の拡大により中止

オ. その他

- ・定例会の実施
- ・赤十字運動月間イベントへの参加
- ・秋田赤十字乳児院でのボランティア活動
- ・海外たすけあい街頭募金活動への参加
- ・学生献血キャンペーン

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、弱視の方のためには複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。(3回発行)

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月10日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 鈴木 敦子

ウ. 赤十字キッズタウン2019

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、点字 体験コーナーを設けた。

期 日 5月26日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
参 加 者 4人
対 象 一般参加者

エ. 青年奉仕団研修会点字講習

期 日 11月23日
会 場 アトリオン研修室
参 加 者 3名

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 11月13日～14日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 1人

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月10日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 小野敏実都

イ. ABS ラジオ番組「まめだすとーく」への出演

期 日 5月22日収録 6月2日放送
会 場 ABS 秋田放送ラジオスタジオ
参 加 者 団員5人
内 容 ・日常の奉仕活動の紹介等トーク
・「第52回愛の芸能祭」のPR
・民謡2曲披露

ウ. 第52回愛の芸能祭

期 日 6月23日
会 場 秋田市文化会館
奉仕人員 全 員

エ. 介護施設 桜三番館 慰問

期 日 8月3日
会 場 桜三番館
奉仕人員 5人

オ. 愛染地区敬老会 アトラクション

期 日 9月16日
会 場 港北地区児童館
奉仕人員 7人

カ. 由利本荘市戦没者遺族地方大会アトラクション

期 日 9月18日
会 場 由利本荘市カダーレ
奉仕人員 23人

キ. にかほ市地区ふれあい交流会アトラクション

期 日 10月24日
会 場 夕なぎ荘
奉仕人員 14人

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア. 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ. 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団 名
6 月 9 日	9 : 00～11 : 30	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
7 月14日	10 : 00～12 : 00	岐阜県赤十字アマチュア無線奉仕団
7 月14日	10 : 00～11 : 00	北海道無線赤十字奉仕団協議会
7 月21日	9 : 00～10 : 00	福島県防災支援奉仕団連絡協議会
9 月 1 日	9 : 00～11 : 00	栃木県支部アマチュア無線奉仕団
9 月16日	9 : 30～11 : 30	静岡県無線赤十字奉仕団
10月20日	9 : 30～10 : 30	長岡アマチュア無線赤十字奉仕団
10月20日	9 : 30～12 : 00	岩手県アマチュア無線赤十字奉仕団
10月20日	9 : 00～11 : 00	島根県無線赤十字奉仕団
10月26日	10 : 00～11 : 00	日赤茨城県支部アマチュア無線奉仕団
10月26日	15 : 00～20 : 00	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
10月27日	10 : 00～12 : 00	兵庫県無線赤十字奉仕団
10月27日	10 : 00～12 : 00	徳島県赤十字アマチュア無線奉仕団
11月 2 日	9 : 00～11 : 10	和歌山県赤十字特別救護奉仕団
11月10日	10 : 00～11 : 30	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
12月 7 日	9 : 30～11 : 00	栃木県支部アマチュア無線奉仕団
12月15日	10 : 00～11 : 00	愛知県赤十字無線奉仕団
1 月11日	9 : 00～15 : 00	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
1 月19日	10 : 00～11 : 30	大阪赤十字機動救助奉仕団
2 月16日	10 : 00～12 : 00	山梨県無線赤十字奉仕団
3 月22日	14 : 00～15 : 30	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
計		21回・16日

4) 水上安全法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

①支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、支部との共催で講習会を企画した。

期 日	7月19日～21日
会 場	秋田県立総合プール
内 容	基礎講習+救助員Ⅰ養成講習
受講者	11人

②「みんなで "J" RC in 十文字」と称して小学校の青少年赤十字活動に寄与した。赤十字講習をはじめ、炊き出しや日赤の災害救護活動の講話など、人道について学ぶ体験プログラムを実施した。

期 日	7月16日
会 場	横手市立十文字第一小学校
内 容	着衣泳・BLS・炊き出し・赤十字災害救護活動の講話

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日	4月10日
会 場	秋田県社会福祉会館
参加者	委員長 畠山 邦男

ウ. 総会の実施

期 日	4月21日
会 場	秋田県社会福祉会館 8階合同研修室
参加者	11人

エ. 赤十字キッズタウン2019

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日	5月26日
会 場	日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容	支部（災害救護）仕事体験コーナーの案内 等

参 加 者 1 人

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 11月13日～14日

会 場 秋田温泉さとみ

参 加 者 1 人

カ. 役員会の実施

期 日 3 月20日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催せず。

キ. その他

小学生に対する水泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し講習会を企画した。

○県北地区（鹿角会場）

期 日 8 月17日～18日、24日

会 場 鹿角市十和田市民センター

内 容 基礎講習＋救急員養成講習

受 講 者 基礎：7 人 救急員養成：4 人

（能代会場）

期 日 10月26日～27日、11月 3 日

会 場 能代ふれあいプラザ サンピノ

内 容 基礎講習＋救急員養成講習

受 講 者 基礎：20人 救急員養成：15人

○中央地区（秋田会場）

期 日 12月1日～7日・8日
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 基礎講習＋救急員養成講習
受 講 者 基礎：26人 救急員養成：26人

○県南地区（湯沢会場）

期 日 6月23日、30日、7月7日
会 場 湯沢市役所
内 容 基礎講習＋救急員養成講習
受 講 者 基礎：5人 救急員養成：5人

イ．赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月10日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 田口 昇

ウ．総会の実施

期 日 4月21日
会 場 秋田県社会福祉会館 8階合同研修室
参 加 者 25人

エ．地区研修会

○県北地区

期 日 ①8月17日、②10月26日
会 場 ①鹿角市十和田市民センター
②能代ふれあいプラザ サンピノ
内 容 ①新指導要領の学科及び実技の確認・練習
②止血帯止血法などの技術確認
参 加 者 ①4人、②4人

○中央地区

期 日 12月 1 日
会 場 秋田県社会福祉会館 日赤研修室
内 容 新救急法救急員養成講習の実技確認等
参 加 者 6 人

○県南地区

期 日 6 月23日
会 場 湯沢市役所
内 容 新救急法救急員養成講習の実技確認等
参 加 者 4 人

オ. 赤十字キッズタウン2019

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5 月26日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
内 容 支部仕事体験コーナー・炊き出し体験コーナー 等
参 加 者 9 人

カ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 11月13日～14日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 1 人

キ. 役員会の実施

期 日 3 月20日
場 所 日赤秋田県支部 研修室

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、開催せず。

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月10日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 八代 千春

イ. 赤十字運動月間イベント「赤十字キッズタウン2019」への参加

期 日 5月26日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
参 加 者 3人

ウ. 6月18日発生山形県沖地震において、団員3人が日赤秋田県支部に参集し、業務支援のため待機

※この災害における秋田県支部の救護活動は不要であったため即日待機解除

エ. 秋田市総合防災訓練への参加

期 日 8月30日
会 場 秋田市 新屋地区
参 加 者 2人
内 容 ・医療救護訓練における応急救護所運営補助
・地域奉仕団による炊出し訓練における補助

オ. 秋田県総合防災訓練への参加

期 日 9月1日
会 場 男鹿市 大潟村
参 加 者 3人
内 容 ・地域奉仕団による炊出し訓練における補助

カ. 「2019 AKITA 防災キャンプフェス」への参加

期 日 9月21日～22日

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
参 加 者 3 人

キ. 防災教育事業指導者フォローアップ研修会への参加

期 日 9 月28日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 竹内 健司

ク. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 11月13日～14日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 1 人

ケ. その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。
- ・定期的に定例会を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4 月10日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 眞井田 恭雄

イ. 賛助奉仕団総会

期 日 6 月14日
会 場 協働大町ビル
参 加 者 17人

ウ. 全国賛助奉仕団協議会総会

期 日 7月9日～10日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 委員長 眞井田 恭雄

エ. 賛助奉仕団研修会

期 日 10月24日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 16人

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 11月13日～14日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 1人

カ. その他

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・JRC リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者として指導にあたった。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	佐藤 安隆	鳥 トキエ

2) 会員数

個 人	法 人	計
173人	67社	240

3) 主な活動

ア. 令和元年度役員会 6月4日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」6人出席
※例年3月に開催している役員会は新型コロナウイルスによる感染症の拡大により中止

イ. 令和元年度総会 6月4日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」34人出席
(懇親会25人出席)

ウ. 公開上映会 6月4日 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」39人参加
(一般参加含)
題 「別れの乳房～97歳赤十字従軍看護婦の証言～」

エ. 全国赤十字大会参会 5月22日 東京都「明治神宮会館」
参会者 野口 良孝(秋田市)

オ. 秋田県支部活動助成

カ. 青少年赤十字活動の推進
青少年赤十字トレーニングセンター参加者へ参加記念写真寄贈

キ. 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への参加

期 日 10月10日～11日
会 場 福岡県福岡市「ホテル日航福岡」
出 席 会長 三戸 俊彦

ク. 新会員勧誘

平成30年11月～令和元年12月までの有功章受章者個人法人へ入会案内を送付
入会 個人 7人 法人 3社

ケ. 会報「有功秋田」の発行 第68号 8月発行

コ. 会員の慶弔 0件

サ. 記念事業資金積立

9. 青少年赤十字（J R C）

1. 組 織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

職 名	氏 名	勤 務 校 名	電話番号
会 長	眞 壁 聡 子	秋田南高等学校	018-833-7431
副 会 長	小 林 寿	大館東中学校	0186-42-2835
同	工 藤 絹 子	高清水小学校	018-845-0831
同	沢 屋 隆 世	大曲中学校	0187-63-2222

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地 区 名	会 長 名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	小 林 寿	大館東中学校	0186-42-2835
能代・山本	藤 田 卓 也	湊城西小学校	0185-52-2237
男鹿・潟上・南秋	加 藤 牧 子	弘戸小学校	0185-46-2510
秋 田 市	工 藤 絹 子	高清水小学校	018-845-0831
由利本荘・にかほ	松 本 健	石沢小学校	0184-29-2341
大 仙 ・ 仙 北	沢 屋 隆 世	大曲中学校	0187-63-2222
横 手 市	北 條 保	醍醐小学校	0182-25-4204
湯 沢 ・ 雄 勝	近 野 良 浩	湯沢東小学校	0183-72-5125

秋田県青少年赤十字指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2. 登 録 状 況

（令和2年3月31日現在）

区 分	学 校 数	メ ン バ ー 数（人）
幼 稚 園 ・ 保 育 園	4 0 園	3, 4 0 4
小 学 校	1 1 0 校	2 1, 2 3 2
中 学 校	5 1 校	9, 6 0 9
高 等 学 校	2 8 校	1, 4 1 7
計	2 2 9 校(園)	3 5, 6 6 7

3. 青少年赤十字加盟校（園）一覧

（令和2年3月31日現在）

校種 地区	幼稚園・保育園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	計
鹿 角 大 館 北秋田		・城南・有浦・釈迦内 ・川口・上川沿・花岡・南 ・早口・鷹巣南・米内沢 ・合川・鷹巣東	・成章・東	・十和田 ・秋田北鷹 ・大館桂桜	17校
		12校 2,139名	2校 435名	3校 72名	2,646名
能 代 本		・淳城西・淳城南・第四 ・第五・向能代・朴瀬 ・竹生・浅内・常盤 ・二ツ井・琴丘・下岩川 ・森岳・金岡・浜口・湖北 ・八森・峰浜・藤里	・能代第一・能代第二 ・能代東・東雲・能代南 ・二ツ井 ・琴丘・山本・八竜 ・八峰・藤里	・能代松陽 ・能代工業 ・能代西 ・能代	34校
		19校 2,704名	12校 1,663名	4校 74名	4,441名
男 鹿 潟 上 南秋田	・若美幼 ・（認）追分幼	・脇本第一・船越・弘戸 ・美里・飯田川・天王 ・追分・五城目・八郎潟 ・大潟	・男鹿南・男鹿北 ・男鹿東・潟西 ・八郎潟	・秋田西	18校・園
	2園 119名	10校 1,787名	5校 620名	1校 14名	2,540名
秋 田	・飯島幼 ・（認）こまどり幼 ・第一ルンビニ保 ・日新保・勝平保 ・あきた中央こども園 ・サン・パティ ・おおまちこども園	・高清水・日新・外旭川 ・下新城・東・桜 ・戸島	・秋田南 ・秋田南高校中等部	・秋田北 ・聖霊・秋田和洋女子 ・秋田工業・金足農業 ・視覚支援学校 ・秋田きらり支援学校 ・秋田クラーク高等学院	24校・園
	7園 716名	7校 3,277名	2校 565名	8校 333名	4,891名
本 荘 由 利	・本荘保	・小友・石沢・由利・西目	・矢島・西目・東由利		8校・園
	1園 139名	4校 653名	3校 325名		1,117名
大 仙 北	・（認）なかせんワイワイランド ・（認）せんぼくちびっくらんど ・（認）おおたわんぱくランド ・（認）すくすくだけっこ園 ・（認）西仙あおぞらこども園 ・大曲駅前こども園 ・仙南すこやか幼 ・六郷わくわく幼 ・千畑なかよし幼 ・はなだて保・大曲東保 ・大曲南保・大曲北保 ・大曲中央こども園 ・大曲乳児保・四ツ屋保 ・大川西根保・角間川保 ・藤木保・内小友保・高畑保 ・みっば保・中仙東保・角館西保	・大曲・東大曲・花館 ・内小友・大川西根・藤木 ・四ツ屋・角間川・神岡 ・西仙北・清水・豊川 ・豊岡・中仙・協和 ・太田東・太田南・太田北 ・南外・高梨・横堀・角館 ・中川・白岩・生保内 ・神代・西明寺・松木内 ・六郷・千畑・仙南	・大曲・大曲西・大曲南 ・平和・西仙北・中仙 ・豊成・協和・太田 ・南外・仙北 ・角館・生保内・神代 ・西明寺・松木内 ・美郷	・大曲農業 ・大曲農業太田分校 ・大曲工業 ・角館 ・秋田修英 ・大曲支援学校	78校・園
	24園 2,055名	31校 5,187名	17校 2,881名	6校 288名	10,411名
横 手	・（認）こひつじ ・（認）上宮第一幼 ・（認）上宮第二幼 ・（認）土屋幼 ・醍醐保 ・むつみ乳児保	・横手南・朝倉・旭・栄 ・横手北・増田・浅舞 ・吉田・醍醐・雄物川 ・大森・十文字第一 ・十文字第二・植田・山内 ・大雄	・横手北・横手南 ・横手清陵学院・増田 ・平鹿・横手明峰 ・十文字	・横手 ・横手城南 ・雄物川 ・横手支援学校	33校・園
	6園 375名	16校 3,743名	7校 2,207名	4校 550名	6,875人
湯 沢 雄 勝		・湯沢東・湯沢西・山田 ・川連・雄勝・皆瀬 ・西馬音内・羽後明成 ・高瀬・三輪・須川	・湯沢北・湯沢南・雄勝 ・羽後	・湯沢 ・稲川支援	17校
		11校 1,747名	4校 913名	2校 86名	2,746名
計	40園 3,404名	110校 21,237名	51校 9,609名	28校 1,417名	229校・園 35,667名

4. 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会（第1回）

期 日 5月14日

会 場 秋田県社会福祉会館

出席者 会長・理事（県内各地区代表）9人

(2) 指導者研修会

期 日 5月28日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 県内青少年赤十字指導者13人

(3) リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

期 日 5月24日～26日

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 齋藤 真理子（秋田市立戸島小学校教諭）

(4) 全国指導者協議会総会

期 日 6月24日～6月25日

会 場 日本赤十字社 本社

参加者 指導者協議会会長 眞壁 聡子（秋田県立秋田南高等学校校長）

(5) リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 7月27日～7月28日

会 場 秋田県青少年交流センター

出席者 中学生・高校生16人、スタッフ13人

(6) 一日リーダーシップ・トレーニング・センター

期 日 9月28日

会 場 能代山本広域交流センター

参加者 小学生高学年18人、スタッフ10人

(7) 第1ブロック指導者研究会

期 日 9月10日～9月11日

会 場 福島市立福島第一小学校

ホテル福島グリーンパレス

参加者 銭谷 寿（秋田県立視覚支援学校教諭）

(8) 指導者中央講習会

期 日 11月23日

会 場 日本赤十字社 本社
出席者 渡邊 真理子（大仙市立協和中学校）

(9) 指導者協議会理事会（第2回）

期 日 11月26日
会 場 秋田県社会福祉会館
出席者 会長・理事（県内各地区代表）9人

(10) 青少年赤十字研究会（指導主事対象）

期 日 平成31年1月9日
会 場 日本赤十字社 本社
出席者 秋田県教育庁南教育事務所仙北出張所 指導主事 小田長 早苗

5. 青少年赤十字研究推進校

- ・ 青少年赤十字研究推進校の委嘱

学 校 名	秋田市立戸島小学校	横手市立増田中学校
委嘱年度	令和元年～2年度	平成30～令和元年
研 究 テ ー マ	・「もっとすてきな自分に～やさしく かしこく たくましく～」を 目指す子どもの育成	・「命と健康を大切に、社会や人の 為に奉仕・貢献できる生徒の育成」 ～他と豊かに関わり、自ら気づき、 考え、実行できる生徒に～

6. 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会

期 日 6月16日
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 加盟各高校代表者35人

(2) 高校協議会研修会（健康安全プログラム）

期 日 6月15日、9月14日、10月26日、12月1日
会 場 秋田県社会福祉会館、能代ふれあいプラザ・サンピノ
参加者 6月15日 高校生3人、10月26日 高校生3人

(3) 高校協議会研修会（幼児安全法講習会）

期 日 10月6日
会 場 秋田県社会福祉会館
参加者 高校生27人、スタッフ2人

(4) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期 日 12月1日

会 場 秋田駅ぽぽろード

参加者 秋田地区高校 JRC 部員 3 人

7. 機関誌の発行

(1) 「青少年赤十字秋田第38号」を発行

10. 広報・普及活動

1. 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数（部）	配 布 先
赤 十 字 N E W S	30,400	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	360,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	15,000	各地区・分区の奉仕者
パンフレット（要覧）	28,500	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	53,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校、献血者 他

2. 報道機関等を通じての広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載13社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5／1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5～7月に本社作成の運動月間用スポット及び支部で作成した広報用 スポットを使用
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	
秋 田 ケ ー ブ ル テ レ ビ	

- ・ラジオ（有線放送）の放送

局 名	広 報 内 容
(株) 秋 田 放 送	5月の赤十字運動月間中に本社作成の運動月間周知並びに会員増強 をテーマとしたラジオスポットを使用
(株) エ フ エ ム 秋 田	
N H K 秋 田 放 送 局	
秋田コミュニティー放送(株)	
井川町〔有線〕	
潟上市地区〔有線〕	

3. イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設がタイアップし次のイベントを実施した。

(1) 赤十字キッズタウン2019 ～赤十字のお仕事を体験しよう！～

会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

期 日 5月26日

内 容

- ・子どもの赤十字のお仕事体験コーナー
- ・赤十字PRコーナー
- ・炊き出し体験コーナー
- ・災害時に役立つ豆知識コーナー
- ・点字体験コーナー
- ・ドクターヘリ見学

(2) レッドライトアッププロジェクト2019

①場 所 ポートタワーセリオン

期 日 4月26日～5月31日

内 容 県民の皆さまに赤十字を知っていただくとともに「人道」への理解を深めていただくことを目的に、ランドマークとなる施設等に参加いただき、赤くライトアップした。

(3) 「別れの乳房～97歳赤十字従軍看護婦の証言」上映会

会 場	上映日	鑑 賞 者	人数(人)
ルミエール秋田	8月18日	一般 ※3回上映	約450
能代市二ツ井公民館	10月26日	能代市二ツ井町赤十字奉仕団員等	107
森吉コミュニティセンター	2月17日	北秋田市森吉赤十字奉仕団員等	64

4. インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。

ホームページアドレス等については次のとおり

ホームページアドレス	http://www.akita.jrc.or.jp
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	・行事紹介 ・事業紹介 ・赤十字講習の受付 ・赤十字の歴史 ・赤十字マークについて ・義援金(受付状況) 等

11. 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

令和元年度は、「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努め、また、赤十字の使命である災害医療救護に取り組んで、地域の信頼を得る」を指針とし、施策に、

1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療構想に基づく方向性の検討、を掲げた。

1) 当院が掲げる、安心で安全な質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、出動件数が349件、要請件数は519件であり、出動件数は過去最高を記録した。

2) 災害医療救護は、支部の要請を受け、令和元年10月の台風19号災害に対して宮城県仙南地域へ、災害医療コーディネーター1名、救護班2班10名、こころのケア班1班1名を派遣した。それぞれが被災者に寄り添った十分な活動を行った。

3) 病院経営健全化のため、診療稼働を上げる努力と費用削減の努力を求めた結果、医療収支、経常収支、病院収支とも黒字を計上できた。

4) 病院機能として高度急性期・急性期の医療を目指し、実行している。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関から前年比116人増の初診時6,527人の紹介を受け（紹介率63.6%）、その後、逆紹介した（逆紹介率87.0%）。

またこのほか、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ施設へ支援要員として医師1名、看護師2名を派遣した。

2 医療活動

医師数は100名を超えるが、診療科による偏在があり、県内外から多くの医師の応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科においては、県内の医療機関から要請があれば応えるようにしており、令和元年度は29箇所の医療機関に医師を応援派遣した。

許可病床数は480床で、一般医療が344床、県の委託を受けて運営する政策医療が136床（救命救急50床、周産期56床、神経病30床）である。標榜科は30科であり、病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターを有している。

令和元年度の入院患者数は延べ143,653人と前年度に比べて1,044人増加した。一日平均入院患者数も前年度の390.7人から392.5人に増加した。病床利用率は 89.4%（前年度比1.6%増）だった。平均在院日数は12.5日と0.2日短縮した。外来患者数は延べ187,956人で前年度より2,855人増加した。患者の地域別割合では、秋田市が外来、入院とも約4分の3であり、その他、前年度と変わりなかった。

救急患者数は16,062人で前年度より増加した。救急からの入院は前年度より221人増加した。救急車による搬送数は前年度の3,053件から3,032件に減少した。

分娩数は795件で前年度より52件減少した。手術室で行われた手術件数は3,761件で前年度より167件増加し、全身麻酔手術数は2,125件で113件増加した。

人間ドックなどの健診事業については、本院では10,600人、あきた健康管理センターでは11,452人、併せて22,052人（前年度比139人減）の健診を行った。

診療稼動額は、入院が92億7千万円（前年度比2億円の増）、外来38億3千万円（前年度比2億3千万円の増）だった。診療単価は、入院64,600円（941円の増）、外来20,430円（947円の増）だった。病院収支としては、収入が151億9千万円（前年度比4億5千万円の増）、支出が143億2千万円（前年度比2億円の減）であり、収支として8億6千万円の黒字となった。令和2年度も引き続き病院収支を黒字にしなければならない。

3. 令和元年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	1,426	3,320	1,906	7,359	11,791	13,843
外来	4,135	14,525	8,992	4,558	9,277	10,940

	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入院	7,162	5,610	9,512	3,167	0	2,649
外来	7,191	11,677	7,955	1,857	6,944	6,455

	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	整形外科
入院	5,396	14,038	2,790	1,840	0	18,764
外来	400	9,150	7,795	1,848	418	15,520

	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科	婦人科
入院	2,479	4,776	1,934	4,644	9,582	4,130
外来	6,153	2,488	7,198	10,913	7,813	7,452

	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入院	203	2,886	0	2,446	
外来	3,364	11,878	816	244	

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	354	224	21	109	97	257	33
急病	13,080	2,232	56	10,792	2,822	10,258	1,884
その他	2,628	576	40	2,012	733	1,895	236
計	16,062	3,032	117	12,913	3,652	12,410	2,153

	患者の状況					
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡	
交通事故	263	4	77	2	8	
急病	9,844	102	3,046	19	69	
その他	2,056	15	546	3	8	
計	12,163	121	3,669	24	85	

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	795	
出生	819	
手術	3,761	手術室におけるもの
死亡	475	外来死亡85件含む
剖検	16	剖検率 4.1%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	6,072	1,565	306	2,072	50	306	229

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	406	11	61	0	1

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	935	712	597	1,806	6

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋田市	25,885	73.54%	5,709	72.05%	31,594
鹿角市・郡	37	0.11%	8	0.10%	45
大館・北秋	589	1.67%	121	1.53%	710
能代・山本	617	1.75%	144	1.82%	761
男鹿・南秋	2,231	6.34%	480	6.06%	2,711
由利・本荘	1,083	3.08%	248	3.13%	1,331
大曲・仙北	3,327	9.45%	730	9.21%	4,057
横手・平鹿	364	1.03%	77	0.97%	441
湯沢・雄勝	232	0.66%	57	0.72%	289
県外	833	2.37%	350	4.42%	1,183
総合計	35,198	100.00%	7,924	100.00%	43,122

秋田市内訳

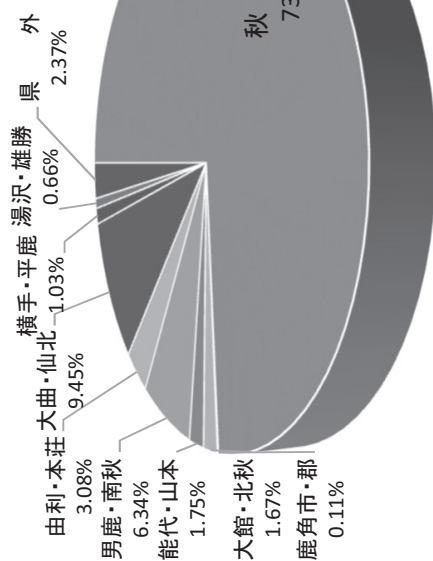
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中央地区	3,470	13.41%	763	13.36%	4,233
東部地区	6,094	23.54%	1,325	23.21%	7,419
西部地区	2,172	8.39%	474	8.30%	2,646
南部地区	8,802	34.00%	1,834	32.12%	10,636
北部地区	2,003	7.74%	408	7.15%	2,411
河辺・雄和	3,344	12.92%	905	15.85%	4,249
秋田市合計	25,885	100.00%	5,709	100.00%	31,594

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

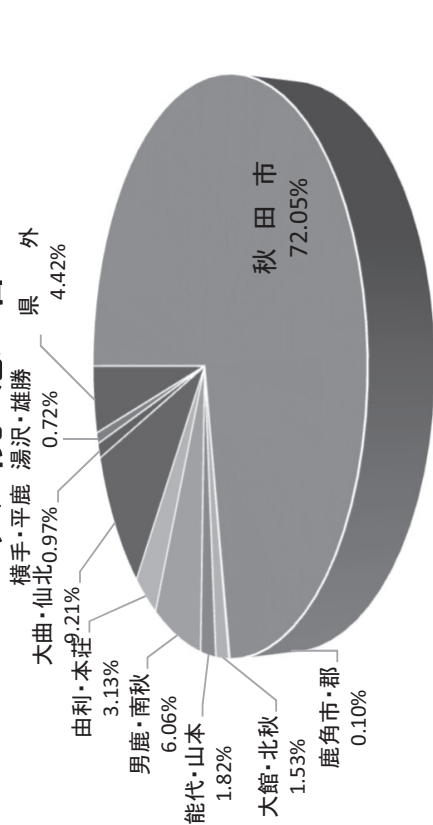
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	2,356	1,606	6,974	390	126	0

全患者内訳

外来患者

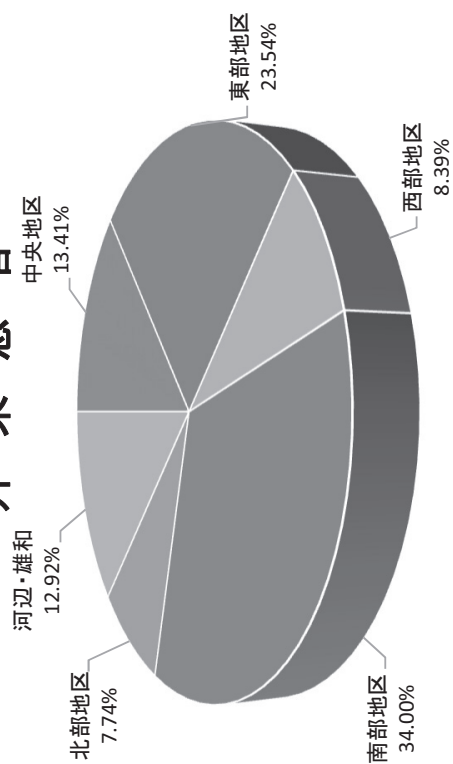


入院患者

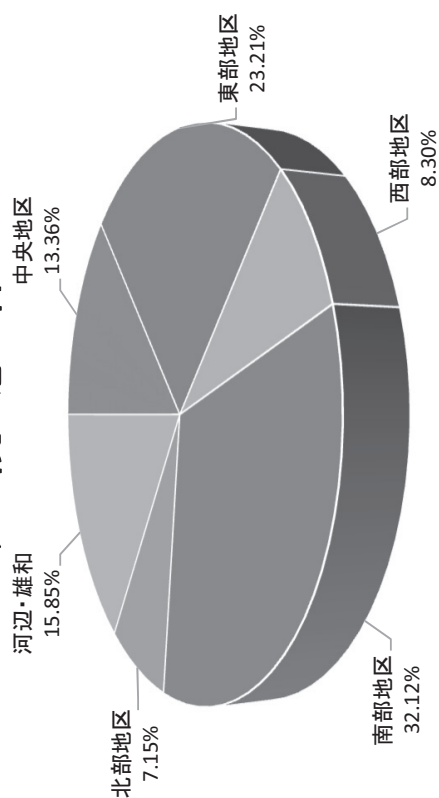


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12. 血 液 事 業

(秋田県赤十字血液センター)

1. 概 要

輸血用血液製剤および血漿分画製剤の多くは高齢者の医療に使われており、輸血を必要とする患者さんの約85%は50歳以上の方々と、その輸血には献血が欠かせません。一方、献血いただいている方の約70%は50歳未満で、そのうち若年層（10～30代）の献血は減少傾向にあります。

秋田県は、少子高齢社会と人口減少率全国1位と相まって、年々献血を推進する環境は厳しい状況にあります。

このような中、東北ブロック6県においては同様の問題を抱える県が複数あることから、献血者確保対策として平成28年度から段階的に、供給計画を基本とする自給自足的な採血計画から生産年齢人口の割合に応じて各県に按分する採血目標としたことで、安全な血液の安定した輸血用血液製剤を供給するための大きな改革を実施しています。

令和元年度の管内（青森県赤十字血液センター弘前供給出張所から供給される大館鹿角地域を除く）医療機関での血液製剤供給見込135,300単位（赤血球：47,800単位、血漿：10,500単位、血小板：77,000単位）を東北ブロックで集約し血漿分画製剤用原料血漿確保量を加えた必要量に対して按分された献血目標は、37,371人（200mL献血：902人、400mL献血：24,621人、成分献血：11,848人）になります。秋田県内の献血者数は減少傾向にあるが県、市町村をはじめ、献血推進協力団体であるライオンズクラブや婦人会、赤十字奉仕団、学生等の協力を得て移動献血バスの稼働効率を向上させ献血に参加しやすい休日の街頭献血を定点献血とし、地域のスーパーやショッピングセンターにおいて定期的を実施することで、各市町村における献血参加を広めていきました。

また、2か所の固定施設、血液センター（献血パークるうぶ）と中通出張所（アトリオン献血ルーム）については、免疫グロブリン製剤の使用増加に伴い血漿献血目標が大幅に増えたことにより、血小板献血から血漿献血へ移行させて複数回献血を推進し、必要な血小板献血は20単位の献血に協力していただく方を増やし確保した。令和元年度の献血実績は、38,426人（200mL献血：1,062人、400mL献血：25,185人、成分献血：12,179人）で、目標に対して1,055人（102.8%）全血献血、成分献血ともに目標を達成することができた。なお、医療機関への供給は、赤血球：48,273単位、血漿：11,256単位、血小板：80,155単位の合計139,684単位と計画135,300単位に対して+4,384単位の103.2%と計画を上回り、特に血小板製剤で増加が見られましたが、需要にこたえて管内医療機関に必要な分をお届けしました。なお、大館鹿角地域の医療機関には10,231単位（赤血球：3,949単位、血漿：302単位、血小板：5,980単位）をより早くお届けできる青森県赤十字血液センター弘前供給出張所から供給しました。

2. 令和元年度実績

(1) 令和元年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	902	1,062	160	117.7%
400 mL 献 血	24,621	25,185	564	102.3%
成 分 献 血	11,848	12,179	331	102.8%
合 計	37,371	38,426	1,055	102.8%
献 血 量 (L)	16,340.0	14,459.7	△ 1,880.3	88.5%

(2) 令和元年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	増 減	前 年 比
200 mL 献 血	1,062	669	393	158.7%
400 mL 献 血	25,185	23,064	2,121	109.2%
成 分 献 血	12,179	10,461	1,718	116.4%
合 計	38,426	34,194	4,232	112.4%
献 血 量 (L)	14,459.7	13,347.1	1,112.6	108.3%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
申込者数	総数		3,361	3,769	3,702	3,710	3,596	3,570	3,801	3,467	3,640	3,413	3,298	3,840	43,167	100.0%
	男		2,389	2,519	2,534	2,479	2,411	2,271	2,441	2,334	2,508	2,385	2,211	2,570	29,052	67.3%
	女		972	1,250	1,168	1,231	1,185	1,299	1,360	1,133	1,132	1,028	1,087	1,270	14,115	32.7%
献血者数	総数		2,947	3,270	3,286	3,279	3,189	3,146	3,356	3,035	3,289	3,103	3,024	3,502	38,426	89.0%
	男		2,238	2,359	2,406	2,357	2,291	2,142	2,311	2,203	2,400	2,276	2,123	2,478	27,584	63.9%
	女		709	911	880	922	898	1,004	1,045	832	889	827	901	1,024	10,842	25.1%
献血できなかった人数	総数		414	499	416	431	407	424	445	432	351	310	274	338	4,741	11.0%
	男		151	160	128	122	120	129	130	131	108	109	88	92	1,468	3.4%
	女		263	339	288	309	287	295	315	301	243	201	186	246	3,273	7.6%
内訳	総数		254	296	215	256	220	231	238	226	201	170	170	191	2,668	56.3%
	血色素不足		58	54	36	41	37	32	26	25	28	21	23	27	408	8.6%
	その他		196	242	179	215	183	199	212	201	173	149	147	164	2,260	47.7%
内訳	総数		160	203	201	175	187	193	207	206	150	140	104	147	2,073	43.7%
	男		93	106	92	81	83	97	104	106	80	88	65	65	1,060	22.4%
	女		67	97	109	94	104	96	103	100	70	52	39	82	1,013	21.4%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数・献血できなかった人数の割合は、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目	合 計			全 血 献 血				成 分 献 血				献 血 量 (L)		
	目 標 数	申込者数	目 標 率 達成率	目 標 数	申込者数	200mL 献 血	400mL 献 血	献 血 者 数 計	目 標 率 達成率	目 標 数	申込者数	献 血 者 数	目 標 率 達成率	目 標 数
保健所														
大 館 保 健 所	2,656	3,024	98.7%	2,656	3,024	90	2,532	2,622	98.7%	0	0	0	—	1,030.8
北 秋 田 保 健 所	912	1,072	102.1%	912	1,072	27	904	931	102.1%	0	0	0	—	367.0
能 代 保 健 所	1,743	2,017	100.7%	1,743	2,017	55	1,700	1,755	100.7%	0	0	0	—	691.0
秋田中央保健所	1,193	1,400	104.9%	1,193	1,400	21	1,230	1,251	104.9%	0	0	0	—	496.2
由利本荘保健所	1,956	2,390	103.8%	1,956	2,390	94	1,937	2,031	103.8%	0	0	0	—	793.6
大 仙 保 健 所	2,657	3,001	98.3%	2,657	3,001	60	2,552	2,612	98.3%	0	0	0	—	1,032.8
横 手 保 健 所	2,199	2,774	106.0%	2,199	2,774	153	2,179	2,332	106.0%	0	0	0	—	902.2
湯 沢 保 健 所	1,535	1,902	107.6%	1,535	1,902	80	1,571	1,651	107.6%	0	0	0	—	644.4
秋 田 市 保 健 所	22,520	25,587	103.2%	10,672	12,613	482	10,580	11,062	103.7%	11,848	12,974	12,179	102.8%	8,501.7
合 計	37,371	43,167	102.8%	25,523	30,193	1,062	25,185	26,247	102.8%	11,848	12,974	12,179	102.8%	14,459.7

※秋田市保健所には、献血パークるうぶ、アトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

性別 年齢	献 血 者 数			男			女		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
16 ～ 19歳	849	997	193	2,039	5.3%	216	690	72	978
20 ～ 29歳	205	4,269	1,533	6,007	15.6%	13	3,135	870	4,018
30 ～ 39歳	4	4,800	2,484	7,288	19.0%	1	3,590	1,598	5,189
40 ～ 49歳	1	6,563	3,408	9,972	26.0%	0	4,993	2,478	7,471
50 ～ 59歳	0	6,192	3,064	9,256	24.1%	0	4,628	2,321	6,949
60 ～ 69歳	3	2,364	1,497	3,864	10.1%	3	1,757	1,219	2,979
計	1,062	25,185	12,179	38,426	100.0%	233	18,793	8,558	27,584

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

性別 職業	献 血 者 数			男			女		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
公 務 員	26	5,085	1,916	7,027	18.3%	2	4,352	1,676	6,030
会 社 員	81	13,730	6,188	19,999	52.0%	7	10,797	4,731	15,535
高 校 生	707	270	61	1,038	2.7%	204	198	14	416
大 学 生	141	793	432	1,366	3.6%	10	480	240	730
そ の 他	107	5,307	3,582	8,996	23.4%	10	2,966	1,897	4,873
計	1,062	25,185	12,179	38,426	100.0%	233	18,793	8,558	27,584

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況

(単位：本)

製剤名 \ 年 度	令和元年度	平成30年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	48,273	48,804	△ 531
血 漿 製 剤	11,256	11,545	△ 289
血 小 板 製 剤	80,155	77,990	2,165
合 計	139,684	138,339	1,345

(注)数値は200mL換算数である。

(8) 他都道府県血液センターとの需給調整状況

<受入>

(単位：本)

製剤名 \ 年 度	令和元年度	平成30年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	1,596	1,789	△ 193
血 漿 製 剤	336	251	85
血 小 板 製 剤	490	2,130	△ 1,640
合 計	2,422	4,170	△ 1,748

(注)数値は200mL換算数である。

<払出>

(単位：本)

製剤名 \ 年 度	令和元年度	平成30年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	1,260	1,462	△ 202
血 漿 製 剤	304	715	△ 411
血 小 板 製 剤	1,095	1,735	△ 640
合 計	2,659	3,912	△ 1,253

(注)数値は200mL換算数である。

13. 乳児院の運営

(秋田赤十字乳児院)

1. 概 要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は母の病気等によるものであるが、ここ数年の傾向として虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっており、半数近くを被虐待児が占めている。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、令和元年度退所した16名のうち家庭復帰となった子どもは8名、里親家庭へ7名の子どもが委託された。

また、保護者の病気等により実親の元へ帰ることが出来ない子どもたちのために、里親制度の推進事業に力を注いでいる。里親トレーニング事業では6組の里親を対象に実施し、里親制度普及促進事業では平成30年度に続き、秋田公立美術大学と共同開催で「里親制度普及促進ポスター展」を秋田県庁、秋田市役所で開催した。さらに令和元年度は県と協働し訪問支援にも取り組んだ。また、県内各地に赴いて里親地域セミナーの開催や地域での里親研修に参画した。そういった活動の成果もあり、令和元年度の新規登録里親は22組で、登録里親組数が秋田県として念願だった100組を上回ることが出来た。

令和元年度は当院の創立70周年を迎え記念誌の発行並びにこれまで支えて下さったボランティアの方々や地域の皆様への感謝を込めて初めての「乳児院まつり」を開催し、250名を超える多くの方々に来院いただき、当院への理解につながったと感じている。

さらに地域に必要とされる施設を目指しており、子育て支援事業の充実や中学生・高校生等の体験学習、日赤看護大生・保育士・栄養士の実習生、ボランティア等の受け入れも当院の特色と考え推進している。

2. 利用状況

(令和2年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

入 所 人 数		退 所 先 及 び 退 所 人 数				年 度 未 在 所 人 数 (A + B - C)
前年度からの 入所数 (A)	新規入所数 (B)	家 庭	里 親	他 施 設	計 (C)	
30	11	8	7	1	16	25

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

虐 待	父母の疾病	婚外出産	未 婚	その他	計
5	3	1	1	1	11

(3) 市町別在所状況

(単位：人)

鹿角市	大館市	能代市	潟上市	秋田市	由利本荘市	大仙市	仙北市	横手市	計
1	3	4	1	8	1	2	1	4	25

3. 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度からの入所	27	28	24	22	30
入 所	17	15	20	27	11
退 所	16	19	22	19	16
年 度 末 人 数	28	24	22	30	25

4. 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8：30～23：00	69件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
デ イ ケ ア	51人
シ ョ ー ト ス テ イ	8人
プ レ マ マ サ ロ ン	15人
育児サークル「愛あいクラブ」	84人

5. 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対 象 児
お 花 見	4月22日	広 面 近 隣 公 園	22人
こどもの日	5月5日	院 内	全 員
院 外 保 育	5月17日	大 森 山 動 物 園	5 人
院 外 保 育	5月20日		4 人
院 外 保 育	5月28日		5 人
七夕まつり	7月7日	院 内	全 員
院 外 保 育	7月30日	ザ ・ ブ ー ン	14人
運 動 会	9月7日	院 内	全 員
お 月 見	9月13日	院 内	全 員
ハロウィン	10月28日	院 内	全 員
クリスマス会	12月25日	院 内	全 員
お 正 月	1月1日	院 内	全 員
節 分	2月3日	院 内	全 員
ひなまつり	3月2日	院 内	全 員

6. ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	15人（延人数233人）
団 体	14団体（延人数204人）

7. 苦情件数

件 数
2 件

8. 幼児安全法講習会の開催

開催日	受講者数(人)	対 象
6月22日	16	一 般
7月6日	17	一 般
10日	4	職 員
13日	2	職 員
16日	2	職 員
17日	6	職 員
22日	8	職 員
29日	3	職 員
8月2日	4	職 員
9月20日	48	一 般
11月10日	6	職 員
13日	2	職 員
16日	2	職 員
19日	4	職 員
24日	2	職 員
26日	2	職 員
27日	2	職 員
12月4日	5	職 員
6日	1	職 員
7日	2	職 員
1月2日	2	職 員
11日	3	職 員
13日	3	職 員
14日	3	職 員
16日	3	職 員
18日	3	職 員
21日	3	職 員
2月3日	3	職 員
合 計	161	

14. 日本赤十字社秋田県支部現勢

(令和2年3月31日現在)

1. 沿革

明治20年（1887）11月3日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年（1896）7月1日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年（1952）10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2. 会員数（含：協力会員） 個人 169,182人
法人 746社

3. 評議員 29人

4. 役員

支 部 長 佐竹 敬久
副 支 部 長 堀井 啓一・穂積 志
本社理事・代議員 佐々木義広
本社代議員 野口 良孝・三戸 俊彦
江畑 佳明
支部監査委員 新谷 明弘・伊藤 新

5. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	メンバー数
幼稚園・保育園	40 園	3,404人
小 学 校	110 校	21,237人
中 学 校	51 校	9,609人
高 等 学 校	28 校	1,417人
計	229校（園）	35,667人

6. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	団員数
地 域	53団	21,069人
青年（学生）	5団	158人
特 殊	7団	316人
計	65団	21,543人

7. 秋田県赤十字有功会員 個人 173人
法人 67社

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	214回	8,364人	94人
健康生活支援	89回	4,280人	34人
水上安全法	31回	1,089人	28人
幼児安全法	77回	1,007人	34人
雪上安全法	1回	11人	1人
計	412回	14,751人	191人

9. 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業（資金援助）
救急法普及支援事業（東ティモール・ラオス）
青少年赤十字海外支援事業（ネパール・バヌアツ）
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10. 災害救護

災害対策本部要員	13人	
救護班要員	9 班	69人
血液供給要員	3 人	
無線局（基地局含）	150MHz	33局
	400MHz	24局
救護車両	6 台	
備蓄救援物資	毛 布	2,510枚
	緊急セット	1,554個
	安眠セット	569個

11. 医療事業（秋田赤十字病院）

内 訳	総 病 床 数	480床
	一般医療	344床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
	神経病医療	30床
入 院		143,653人
	1 日平均	392.5人
外 来		187,956人
	1 日平均	786.4人

12. 血液事業（秋田県赤十字血液センター）

献血ルーム	2（血液センター、アトリオン献血ルーム）	
移動採血車	3 台	
献血者数（延人数）		供給本数（200mL 献血由来換算）
200mL献血	1,062人	赤血球製剤 48,273本
400mL献血	25,185人	血漿製剤 11,256本
成分献血	12,179人	血小板製剤 80,155本
計	38,426人	計 139,684本

13. 社会福祉施設（秋田赤十字乳児院）

定 員	30人
年度末在所児童数	25人

14. 職員数（嘱託・臨時職員等は除く、令和2年4月1日現在）

日本赤十字社秋田県支部	8人
秋田赤十字病院	752人
秋田県赤十字血液センター	49人
秋田赤十字乳児院	18人
計	830人

15. 会計（令和2年度当初予算）

支 部	184,380千円	
病 院	収益の収入	15,105,187千円
	収益の支出	15,092,963千円
乳 児 院	歳 入	358,557千円
	歳 出	302,896千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <http://www.akita.jrc.or.jp>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp>

附属あきた健康管理センター

〒010-0001 秋田市中通三丁目4番23号
TEL 018 (832) 1601 FAX 018 (832) 1603

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通2丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案 内 図>



